Panasonic

DVD MULTI ドライブ

取扱説明書

品番 LF-M660JD

DVD MULTI RECORDER
COMPACT disc ReWritable High Speed

このたびは、パナソニック DVD MULTI ドライブをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
■製造番号（製品本体底面に表示）は、品質管理上重要なものです。製品本体と保証書の番号を照合してください。
■サポートやバージョンアップ等のサービスを受けるため、必ずユーザー登録を完了させてください。

対応パソコン

- DOS/V
- PC98-NXシリーズ

対応 OS（日本語版）

- Windows® XP Home Edition/Professional
- Windows® 2000 Professional
- Windows® Millennium Edition
- Windows® 98 Second Edition

上手に使って上手に節電

保証書別添付

LMQT00619

特　長

USB2.0インターフェースに対応（ ☞ 17ページ）

USB2.0は、USB1.1の後継規格でHigh スピード（理論値 480 Mbps）とFull スピード（理論値 12 Mbps）の両方の転送速度に対応しています。

多彩なメディアに対応（ ☞ 9ページ）

■DVD-RAM 片面 4.7 GB、両面 9.4 GBの大容量記録。3倍速記録・再生。※

■DVD-R の記録・再生。4倍速記録。※

■DVD-RW の記録・再生。

■CD-R／RW の記録・再生。

■本書内での各メディアのマーク

DVD-RAM：DVD-RAM　DVD-R：DVD-R　DVD-RW：DVD-RW　CD-R：CD-R　CD-RW：CD-RW

※ 対応ディスクが必要です。

多彩なアプリケーションソフトを付属

■CD-R/RW、DVD-R/RW ライティングソフト（B's Recorder GOLD5 BASIC ☞ 43ページ）

オリジナルのデータ CD/DVD、オーディオ CD などの作成、CDやDVDをまるごとバックアップするなど多彩な機能を備えたCD-R/RW、DVD-R/RW ライティングソフトウェアです。また、DVD-RAMディスクにも書き込みが可能です。

■CD-RW、DVD-RW パケットライティングソフト（B's CLiP5 ☞ 50ページ）

CD-RW/DVD-RW ディスクにファイル単位でデータを書き込むためのソフトウェアです。

■DVD ビデオレコーディング対応ソフト（DVD-MovieAlbumSE 3 ☞ 54ページ）

パソコン上で DVD フォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」に対応したビデオレコーディングの記録・再生・編集環境を提供するソフトウェアです。

■DVD パーソナルオーサリングソフト（MyDVD® 4 ☞ 58ページ）

MPEG2の動画ファイルを用いたDVD-Video 形式でのオーサリング（コンテンツの作成）をするソフトウェアです。

■DVD-Video 再生ソフト（WinDVD™ 4 ☞ 62ページ）

InterVideo社のソフトウェアDVD プレーヤーです。

■簡易バックアップソフト（FileSafe ☞ 65ページ）

指定したフォルダを自動的にバックアップしたり、内容変更されたフォルダのみをDVD-RAM ディスクにバックアップするソフトウェアです。

本機を組み込んだパソコン等は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

本製品の使用により、または故障により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
重要なデータに関しては、万一に備えてバックアップ（複製）をしてください。

本書内の画面表示については、Windows XPの画面を代表例としている場合があります。

付属ソフトと使用ディスク

ディスク	サポート形式（ディスクフォーマット）	ソフト名（バージョン等は省略しています）						
		DVD-RAMドライバーソフト	B's Recorder GOLD	B's CLiP	DVD-MovieAlbum	MyDVD®	WinDVD™	FileSafe
DVD-RAM	UDF/FAT32	リード/ライト						バックアップ/リストア
	UDF Bridge※5		作成					
	VR※1				作成/再生/編集			
	DVD-Video※2					作成	再生	
DVD-R	UDF Bridge		作成					
	DVD-Video※3					作成	再生	
DVD-RW	UDF			リード/ライト（パケットライト）				
	UDF Bridge		作成					
	DVD-Video※3					作成	再生	
CD-R	データ CD (ISO 9660)		作成					
	音楽 CD		作成					
	Video CD※4		作成			作成	再生	
CD-RW	UDF			リード/ライト（パケットライト）				
	データ CD (ISO 9660)		作成					
	音楽 CD		作成					
	Video CD※4		作成			作成	再生	

※1 本機と DVD-MovieAlbumSE 3 の組み合わせで作成した DVD フォーラム策定のビデオレコーディング規格準拠 DVD-RAM ディスクは、DVD-RAM 再生とビデオレコーディング規格に対応した DVD プレーヤーや DVD レコーダーで再生できます。また、ビデオレコーディング再生のアプリケーションソフトを使うと、DVD-RAM 再生に対応した DVD-ROM ドライブや DVD-RAM ドライブなどでも再生できます。ただし、すべての装置での再生を保証するものではありません。

※2 本機と MyDVD® 4 の組み合わせで作成した DVD-Video 形式の DVD-RAM ディスクは、パソコン上で WinDVD™ 4 と組み合わせてお使いください。

※3 本機と MyDVD® 4 の組み合わせで作成した DVD-R(for General)、DVD-RW ディスクは、DVD フォーラム策定のビデオ規格準拠となります。DVD-R、DVD-RW 再生に対応したDVD プレーヤーで再生できます。また、DVD-Video 再生のアプリケーションソフトを使うと、DVD-RAM ドライブやDVD-ROM ドライブなどでも再生できます。ただし、すべての装置での再生を保証するものではありません。

※4 本機と MyDVD® 4 の組み合わせで作成したVideo-CD 形式の CD-R、CD-RW ディスクは、CD-R、CD-RW ディスクの再生とVideo-CD Ver. 2.0 に対応した装置で再生できます。ただし、すべての装置での再生を保証するものではありません。

※5 本機とB's Recorder GOLD5 BASICとの組み合わせで記録したDVD-RAMディスクは、読み出し専用メディアとなります。（☞ 9ページ）

当社製DVDレコーダーで記録したディスクに関するお知らせ

- DVD-MovieAlbumSE 3は、当社製DVD レコーダーで一世代だけ録画が許された映像（一部のBS デジタル放送など）を記録したDVD-RAM ディスクの再生には対応しておりません。DVD レコーダーで再生してください。
- DVD-RAMディスクのコピーは、DVD-MovieAlbumSE 3の「DVD-MovieAlbumコピーツール」をお使いください。ただし、一世代だけ録画が許された映像のコピーには対応しておりません。
- DVD-R ディスクのコピーは、B's Recorder GOLD5 BASIC の「ディスクコピー」をお使いください。ただし、著作権保護された映像のコピーには対応しておりません。

もくじ

はじめによくお読みください

使う前の準備

使いかた

もっと使いこなしたいとき

もし必要なとき

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は絵表示の一例です）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

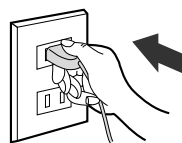
電源コード・AC アダプターについて

ACアダプター・電源コード・プラグを破損するようなことはしない

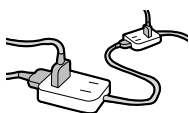
［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたり、布をかぶせたりしない］

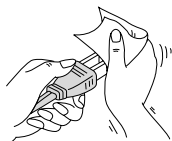
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- AC アダプターおよびコードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

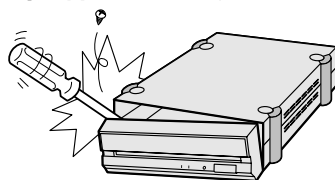
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

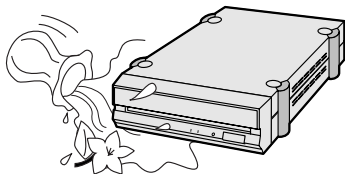
ぬれ手禁止

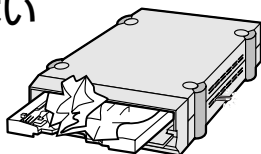
感電の原因になります。

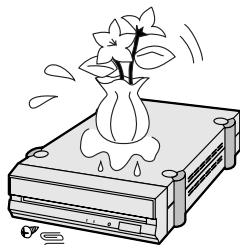
⚠警告

ご使用について

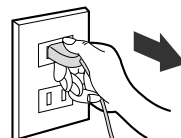
本機やAC アダプターの分解や改造は絶対にしない(本体カバーを外すなど)

火災や感電の原因になります。
- 修理は販売店にご相談ください。

水をかけたり、ぬらしたりしない

本機の内部に入ると、火災や感電の原因になります。

本機の内部に金属類や燃えやすいものを入れない

火災や感電の原因になります。

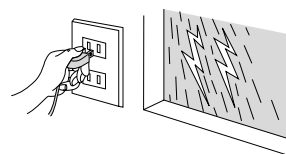
本機上面や近くに液体容器や金属類を置かない

本機の内部に入ると、火災や感電の原因になります。

もし異常が起こったら

異常があったときは電源プラグを抜く！

電源プラグを抜く
- 液体・異物などが内部に入ったら、電源スイッチを切り電源プラグを抜く！
- 落としたりして破損したら、電源スイッチを切り電源プラグを抜く！
- 煙が出たり変な臭いや音がしたら、電源スイッチを切り電源プラグを抜く！

そのまま使用すると、ショートして、火災や感電の原因になります。
- 修理は販売店にご相談ください。

雷について

雷が鳴りだしたら、電源プラグ、AC アダプターや本機の金属部に触れない

感電の原因になります。

⚠ 注意

設置・接続について

直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない

本機の内部温度が上昇して、火災の原因になります。

湿気やほこりの多い場所や加湿器のある場所に置かない

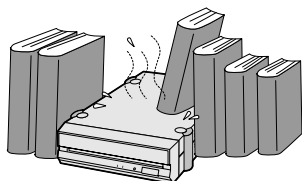
火災や感電の原因になります。

振動や衝撃のある場所や傾斜した場所に置かない

落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

付属のAC アダプター以外は使わない

他のAC アダプターを使用すると、火災の原因になります。

重たいものを載せたり、通風孔をふさぐような風通しの悪い場所に置かない

本機の内部温度が上昇して、火災の原因になります。

ご使用について

シャッターのすき間から内部をのぞき込まない

内部のレーザー光線を直視すると、視力障害を起こす原因になります。

ディスクの回転中に本体を動かしたり、持ち上げたりしない

ディスクを傷つける原因になります。

ひび割れや変形補修したディスクは使用しない

本機の内部で飛び散って、けがの原因になります。

本機に磁石、ディスプレイなど磁気をもっているものを近づけない

磁気の影響を受けて、動作が不安定になったり、記録が損なわれたりするおそれがあります。

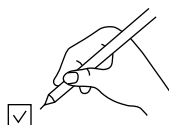
トレイに手を入れ、挟まれないよう注意する

指に注意

けがの原因になります。

電源コードの抜き差しは、電源プラグを持つ

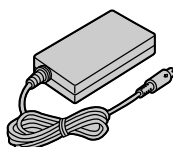
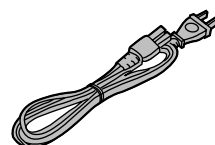
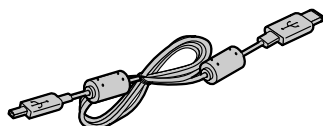
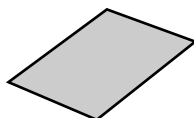
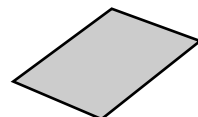
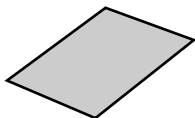
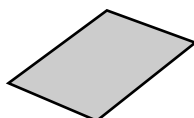
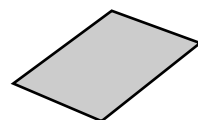
コードを引っ張るとコードが傷ついたり、ちぎれたりして、火災や感電の原因になることがあります。

付属品のご確認

必ず確かめてください。

□ CD-ROM
●アプリケーションソフト
●DVD-RAMドライバーソフト
(品番：LMFX0082)

□ フロッピーディスク
●Windows 98SE USBドライバーソフト
(品番：LMFF3S0421)

□ 強制イジェクトピン
(品番：JZS0484)

□ ACアダプター
(品番：N0JZZY000005
もしくはVSK0642)

□ 電源コード
(品番：K2CA2DA00009)

□ USBケーブル
(品番：K2KY4CD00001)

□ DVDit!™ PEへのアップグレードのご案内
(品番：VQC4253)

□ ユーザー登録カード
(品番：LMQA0025)

□ MyDVD® 4
クイックガイド
(品番：LMQCA0258)

□ 取扱説明書（本書）
(品番：LMQT00619)

□ 保証書

※本書を最後までよくお読みいただき、使用目的に応じて必要な物を別途ご準備ください。
付属品の紛失や破損による買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。
カッコ（　　）内は買い替え時の1個の品番です。
品番が2つ記載されている場合はどちらか1つをご使用ください。
付属のCD-ROM の買い替えは、著作権の関係上、破損したCD-ROM の現物との交換とさせていただきます。また、付属品は本機以外で絶対に使用しないでください。
なお、本ドライブの本体単品品番はLF-M660です。

- Windows、Windows NT、Internet Explorer は米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。（Windows の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。）
- Photo CD は米国イーストマン・コダック社の商標です。
- B's Recorder GOLD および B's CLiP は、株式会社ビー・エイチ・エーの商標です。
- WinDVD™は、Inter Video Incorporatedの商標です。
- MyDVD®は、米国Sonic Solutionsの登録商標です。
- Adobe®およびAcrobat®は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- その他、本書に記載されている社名および商品名は、各社の商標、登録商標および商品です。

使用できるディスクについて

DVDメディア

■ディスクの種類とデータ転送速度

1倍速＝1,385 kB/sec

ディスク		書き込み速度	読み出し速度
DVD-RAM	9.4 GB（両面）、4.7 GB（片面）	3倍速/2倍速	3倍速/2倍速
	5.2 GB（両面）、2.6 GB（片面）	1倍速	1倍速
	2.8 GB（両面）、1.4 GB（片面）	2倍速	2倍速
DVD-ROM	シングルレイヤー（1層）	–	最大12倍速
	デュアルレイヤー（2層）	–	最大6倍速
DVD-Video		–	最大6倍速
DVD-R	4.7 GB（for General, Ver. 2.0）	4倍速/2倍速/1倍速	最大6倍速
	4.7 GB（for Authoring, Ver. 2.0）	–	最大6倍速
	3.95 GB（for Authoring, Ver. 1.0）	–	最大6倍速
DVD-RW	4.7 GB Ver. 1.0	–	最大6倍速
	4.7 GB Ver. 1.1	1倍速	最大6倍速

データ転送速度は USB2.0 接続時の場合です。

DVD-RAM： 繰り返してデータの書き込みができる（リムーバブル）DVDです。

DVD-ROM： 読み出し専用のDVDです。映画などの映像を記録したものがDVD-Videoです。

DVD-R： 一度だけ書き込みが可能なDVDです。for General は一般お客様用ですが、for Authoring は業務用ですので一般販売店では購入できません。

DVD-RW： 書き込んだデータ全体または最後のボーダーが消去でき、再度書き込みや書き換えが可能なDVDです。

■DVD-R/RWの書き込み方式

ディスクアットワンス： ディスク全体に一度にまとめてデータを書き込む方式です。後から追加書き込みをすることはできません。

インクリメンタル： データを「パケット」と呼ばれる細かい単位に分割して書き込む方式です。パケットライト方式で記録をするソフトはパケットライトソフトと呼ばれ、これを使うと、ハードディスクなどと同じようにファイル単位での書き込みが可能となります。

DVD-RAMへの書き込みにB's Recorder GOLD5 BASICを使用すると

エクスプローラー上でのドラッグアンドドロップ操作やアプリケーション上から直接保存などの今までのハードディスクのような使い方に加えて、CD-R/RWと同様な書き込みができます。（2.6GB/5.2GBディスクを除く）

特長

- 追加書き込みができます。
- 書き込み時にベリファイあり/なしを選択できます。
- ベリファイなしを選択すると、エクスプローラーや他のアプリケーションで書き込む場合（ベリファイあり）に比べて約半分の時間で、できます。

お知らせ

- B's Recorder GOLD5 BASICで書き込まれたDVD-RAMディスクには、エクスプローラーや他のアプリケーションで書き込みができません。
- ベリファイなしで書き込んだDVD-RAMディスクは、ディスクの状態により読み出しができないことがあります。大切なデータのバックアップやディスクの作成などは、ベリファイありでご使用ください。
- ベリファイなしを選択してもディスクのチェックをし、状態によっては自動的にベリファイありで書き込むことがあります。
- ベリファイなしで書き込んだDVD-RAMディスクをB's Recorder GOLD5 BASIC以外のソフトで使用するときは、B's Recorder GOLD5 BASICで［メディア全体を標準消去する］を選択して消去するか、本機添付のフォーマットソフト（DVDForm）で物理フォーマットをしてください。なお、消去あるいは物理フォーマットは約40分～90分かかります。

使用できるディスクについて（つづき）

CDメディア

■ディスクの種類とデータ転送速度

1倍速＝150 kB/sec

ディスク		書き込み速度	読み出し速度
CD-ROM		ー	最大32倍速
CD-R		12倍速/8倍速/4倍速	最大32倍速
CD-RW	1ー4倍速	4倍速	最大24倍速
	4ー12倍速（High Speed）	8倍速/4倍速	

データ転送速度は USB2.0 接続時の場合です。

CD-ROM： 読み出し専用のCDです。

CD-R： 一度だけ書き込みが可能なCDです。一度書き込んだデータの消去や書き換えはできません。書き込みモードによっては、空き領域に追加書き込みが可能です。

CD-RW： 書き込んだデータ全体または最後のセッションが消去でき、再度書き込みや書き換えが可能なCDです。本機は Ultra Speed ディスクには対応しておりません。

■CDの対応フォーマット

CD-DA (音楽CD)：音楽CDのフォーマットです。

CD-ROM Mode1：デジタルデータを記録するためのフォーマットです。

CD-ROM XA Mode2：マルチメディアに適したフォーマットで、データと音声・画像を混在させたフォーマットです。

CD-Extra： 1つ目のセッションにオーディオデータを書き込み、2つ目以降のセッションにXA Mode2のデータを記録するフォーマットです。

CD TEXT： 音楽CDにアルバムタイトルや曲名などの文字情報を記録するフォーマットです。

Photo CD： 写真のイメージデータをCD-ROMに記録し、家庭用テレビで再生したり、コンピュータで使用したりするためのもので、Kodak社が開発したフォーマットです。

Video CD： 映画などの動画をMPEG1方式で圧縮してCDに収めたタイトル、またはそのフォーマットのことです。

■CD-R/RWの書き込み方式

ディスクアットワンス： ディスク全体に一度にまとめてデータを書き込む方式です。後から追加書き込みをすることはできません。

トラックアットワンス： トラック単位でデータを書き込む方式です。ディスクに空き容量が残っている限り、最大99回までの追加書き込みが可能です。

セッションアットワンス： セッション(リードイン+データ+リードアウト)単位でデータを書き込む方式です。

マルチセッション： データの記録単位である「セッション」が複数記録されており、記録開始の目印である「リードイン」、データ本体、および記録終了の目印である「リードアウト」で構成されています。

パケットライト： データを「パケット」と呼ばれる細かい単位に分割して書き込む方式です。パケットライト方式で記録をするソフトはパケットライトソフトと呼ばれ、これを使うと、ハードディスクなどと同じようにファイル単位での書き込みが可能となります。

推奨メディア

下記メーカー製のディスクを推奨します。（2003年6月1日現在）

DVD-RAM： 松下電器産業（株）、日立マクセル（株）

DVD-R for General： 松下電器産業（株）、太陽誘電（株）、三菱化学（株）

DVD-RW： 日本ビクター（株）、TDK（株）

CD-R： 太陽誘電（株）、三菱化学（株）、（株）リコー、日立マクセル（株）

CD-RW： 三菱化学（株）、（株）リコー

※ 松下電器産業（株）製ディスクについては裏表紙をご覧ください。

使用上のお願い

本機の取り扱いについて

■設置するときは

- 棚の上など、高いところには置かない。
- 本機及びケーブルの端子部分に触れない。
  （故障の原因になります）
- 水平または垂直で使用する。（垂直方向で使用する場合は、故障の原因になるため、転倒しないよう安定な場所に設置してください）

■移動や輸送するときは

- 移動するときは、必ずディスクを取り出し、電源を切って、ACアダプターなどのコード類をすべて外す。
- 引っ越しなどで輸送するときは、購入時のパッキングケースに入れる。
- 移動や輸送するときは、落としたり、ぶつけたりしない。

■長期間使用しないときは

- 節電のため本体の電源スイッチを切り、AC アダプターをコンセントから抜いてください。
  （本体の電源スイッチを切った状態でも、約1 W の電力を消費しています）

■使用するときは

- 本機を動作中に動かさない。
  （故障の原因になります）
- トレイを出したまま放置しない。
  （内部にほこりが入り、故障の原因になります）
- トレイにDVD-RAM ディスク、指定のディスク以外のものを装着しない。
  （故障の原因になります）
- 8 cmディスクを使用するときは市販の8 cm アダプターは使用しない。
- シャッターを押さえた状態で、トレイの出し入れをしない。（故障の原因になります）
- 無理にシャッターを開けない。
  （故障の原因になります）
- 本機に磁石など磁気を持つものを近づけない。（磁気の影響で、動作が不安定になることがあります）
- 本機が結露した状態で使用しない。
  [寒い場所から暖かい場所へ急に持ち込むと、水滴が付着（結露）し、誤動作、故障の原因になります。ディスクを取り出し、約1時間放置した後、ご使用ください]
- 揮発性の殺虫剤などがかからないようにする。
  （外装ケースの変形や塗装がはげる原因になります）
- 隣接して使用しているラジオやテレビに雑音が入るときは 2 m以上離すか、コンセントを別にする。

お手入れについて

■レンズ、ディスクのお手入れについて

- 長時間使用すると、本機のレンズ、ディスクにほこり等が付着して、正常に読み書きできなくなるおそれがあります。
  使用環境や使用回数によって異なりますが、別売の専用クリーニングキット（☞ 裏表紙）を用いて、約1年に一度お手入れすることをおすすめします。
- ご使用になっているDVD-RAM ディスクの汚れの状態などを、簡易的にチェックするユーティリティを付属のCD-ROM に準備しております。（☞ 41ページ）
  このユーティリティは、あくまで汚れの程度の目安としてお使いいただくもので、チェックの結果が、データの記録を保証するものではありませんのでご了承願います。

■本機表面のお手入れについて

- 電源を切り、電源コードをコンセントから抜く。
- よごれはやわらかい乾いた布で軽くふき取る。
- よごれがひどいときは、うすめた台所用洗剤（中性）に布をひたし、よくしぼってからふく。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの溶剤を使わない。

■トレイ部のお手入れについて

- カートリッジなしディスクおよびTYPE2、TYPE4カートリッジから取り出したディスクをよくお使いになり、本機のトレイ部の汚れがひどいときは、ディスクのクリーニングとあわせてトレイ部の清掃をお願いします。
- トレイ部の汚れは、やわらかい乾いた布で清掃してください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

ディスクの取り扱いについて

- 正しく取り扱いをしないとデータの書き込みが正常に行われない、すでに記録されているデータが損なわれる、ドライブが故障する、などの障害が発生する場合があります。
- 4.7 GB DVD-RAM ディスクのカートリッジなし、およびTYPE2、TYPE4カートリッジから取り出したディスクや8 cm DVD-RAM ディスク、DVD-R（for General)、DVD-RW（4.7 GB Ver.1.1)、CD-R、CD-RWディスクをご使用の際は本説明書やご使用のディスクの取扱説明書をよくお読みのうえご使用ください。
- 本機に装着したDVD-RAM ディスクにフォーマットや記録ができない場合、いくつかの原因が考えられます。詳細は42ページをご覧ください。
- 大切なデータの記録や再生を行う場合には、カートリッジ・タイプのDVD-RAM ディスクのご使用をおすすめいたします。
  カートリッジなしディスクおよびTYPE2、TYPE4カートリッジから取り出したディスクの記録面に、指紋や汚れ、ほこり、傷などがつくと、記録済みのデータが読めなくなったり、記録できなくなる場合がありますのでご注意願います。
- 本製品の使用により、または故障により生じたデータの損失ならびに、その他直接、間接の損害につきましては、当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
  重要なデータに関しては、万一に備えてバックアップ（複製）を行ってください。

DVD-RAM ディスクの種類

DVD-RAM ディスクは、「記録できるDVD」として、パソコンデータの大容量記録再生を目的に開発されたリムーバブルディスクです。

DVD-RAM ディスクには、以下のタイプがあります。

- **TYPE1**…カートリッジからのディスクの取り出しはできません。
- **TYPE2**…片面のディスクで、カートリッジからのディスクの取り出しができます。
- **TYPE4**…両面のディスクで、カートリッジからのディスクの取り出しができます。
- **カートリッジなし**

今後発売予定のDVD-RAM ディスクが再生可能なDVD-ROM ドライブやDVD プレーヤーでは、TYPE2、TYPE4またはカートリッジなしをお使いください。

TYPE1、TYPE2、TYPE4 DVD-RAMディスク

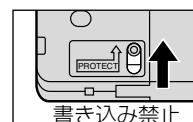
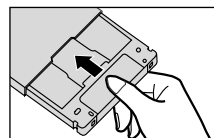
次のようなところには置かない

- ごみやほこりの多い場所。
- 温度、湿度の高い場所、直射日光の当たる場所。
- 温度差の激しい場所。（結露が生じます）

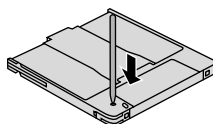
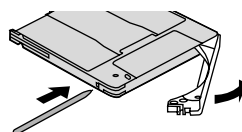
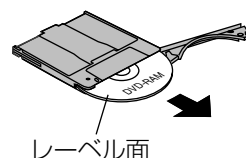
取り扱い上のお願い

- ディスクの表面に触れない。
- 落としたり、曲げたり、重いものを載せない。
- はがしたラベルを再度貼らない。
- 使用しないときは、ケースに入れて保管する。
- ハードディスクやフロッピーディスクと同じように、定期的にバックアップ（データの複製）を行う。
- 大切なデータを保護するときは「書き込み禁止」にする。

書き込み可能

書き込み禁止

※12～15ページのDVD-RAM ディスクのイラストは松下電器産業（株）製 12 cm DVD-RAM ディスクで説明しています。他のディスクをご使用の場合はその取扱説明書をご覧ください。

TYPE2カートリッジからディスクを取り出すときは

1 カートリッジのロックピンを、ボールペンなどの先のとがったもので押し、確実に折って、取り除く

2 カートリッジ左手前側面にある開閉用のへこみを、細いもので押さえ、開閉ふたを開ける

3 表面を汚したり、傷つけたりしないよう、ディスクを水平に取り出す

ディスクを収納するときは

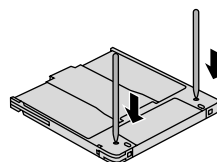
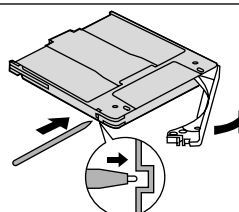
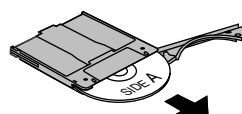
- カートリッジのデザイン面とディスクのレーベル面を同じ向きにしてディスクをカートリッジに挿入し、開閉ふたを閉じる位置まで戻します。
- 開閉ふたを閉じたあとにライトプロテクトの設定に注意してください。

取り扱い上のお願い

- 開閉ふたを開くときに無理な力を加えて破損させないでください。
- ディスクを取り出したあとのカートリッジにはDVD-RAM以外のディスクを入れて使用しないでください。
- ディスクの記録面に指紋やよごれ、ホコリ、傷、水（油）滴等が付かないように取り扱ってください。また、記録面への文字の書き込みは絶対にしないでください。
- レーベル面への文字の書き込みは柔らかい油性フェルトペンを使用し、ボールペン、鉛筆などの先の固い筆記具は使用しないでください。
- ディスクにはラベルや保護シートを貼ったり、コーティング剤等を使用しないでください。
- ディスクがよごれた場合は、別売の専用クリーナー（☞裏表紙）および洗浄液でクリーニングしてください。ベンジン、シンナーや静電防止剤入りクリーナー等は使用しないでください。
- 取り出したディスクは必ず元のカートリッジに戻して保管してください。
- ディスクを落下させたり、曲げたりしないでください。

ディスクの取り扱いについて

TYPE4カートリッジからディスクを取り出すときは

1. カートリッジのロックピン（2ケ所）を、ボールペンなどの先のとがったもので押し、確実に折って、取り除く

2. カートリッジ左手前側面にある開閉用のへこみを、細いもので押さえ、開閉ふたを開ける

3. 表面を汚したり、傷つけたりしないよう、ディスクを水平に取り出す

ディスクを収納するときは

- カートリッジのA面とディスクのSIDE Aを同じ向きにしてカートリッジに挿入し、開閉ふたを閉じる位置まで戻します。
- 開閉ふたを閉じたあとにライトプロテクトの設定に注意してください。

取り扱い上のお願い

- 開閉ふたを開くときに無理な力を加えて破損させないでください。
- ディスクを取り出したあとのカートリッジにはDVD-RAM以外のディスクを入れて使用しないでください。
- ディスクの記録面に指紋やよごれ、ホコリ、傷、水（油）滴等が付かないように取り扱ってください。また、記録面への文字の書き込みは絶対にしないでください。
- ディスクにはラベルや保護シートを貼ったり、コーティング剤等を使用しないでください。
- ディスクがよごれた場合は、別売の専用クリーナー（☞裏表紙）および洗浄液でクリーニングしてください。ベンジン、シンナーや静電防止剤入りクリーナー等は使用しないでください。
- 取り出したディスクは必ず元のカートリッジに戻して保管してください。
- ディスクを落下させたり、曲げたりしないでください。

カートリッジなしDVD-RAM 、DVD-R（for General)、DVD-RW（4.7 GB Ver.1.1)、CD-R、CD-RW ディスク

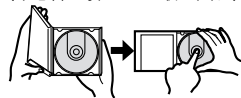
次のようなところには置かない

- ごみやほこりの多い場所。
- 温度、湿度の高い場所、直射日光が当たる場所。
- 温度差の激しい場所。（結露が生じます）

取り扱い上のお願い（※印の注意文は、DVD-RAMのみに適用されます）

- ディスクをケースから取り出すときは、中心部を押さえて取り出してください。ケースへ収めるときは、ディスクのラベル印刷面を上から押さえて入れてください。
- ディスクは、指でディスク中央の穴の部分と外側をはさむようにして持ってください。
- ディスクの記録面に触らないでください。
  ディスクは、印刷がされていないほうが記録面です。
- ディスクの表面は、ごみやほこり、指紋などで汚したり、傷つけたりしないでください。

  また、落としたり、曲げたり、紙を貼ったりしないでください。（書き込み速度が低下したり、記録したデータが読めなくなる原因になります）

ケースからの出しかた（中心部を押さえて取り出す）

ケースへの入れかた（ラベル面を上から押さえて入れる）

持ちかた（ラベル印刷面の反対面に触れない）

- ディスクの印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンを使用してください。ボールペン、鉛筆などの先の硬いものは、使用しないでください。
- ディスクが汚れた場合は、別売の専用クリーナー（☞裏表紙）でクリーニングしてください。
  ベンジン、シンナーや静電気防止剤入りクリーナー等、指定以外のものは使用しないでください。
- キズや汚れからディスクを保護するために、未使用時は短時間であっても必ず保護ケース、またはカートリッジに収めてください。
- ディスクを落としたり、重ねたり、また、ディスクにものを載せたり、衝撃を与えたりしないでください。ディスクに無理な力を加えると、データの信頼性が保てなくなります。

※● 大切なデータを保護するときは、必ずライトプロテクトを設定してください。ライトプロテクトを設定するには、付属の CD-ROM に準備されているユーティリティをお使いください。(☞40ページ)

※● TYPE2カートリッジから取り出した状態の2.6 GB DVD-RAM ディスク（LM-DB26J）へは記録することができません。記録するときは、カートリッジに入れた状態でご使用ください。

- ディスクのドライブへの入れ方は、ＣＤ や DVD-ROM ディスクと同じ方法でトレイへセットしてください。

DVD-ROM、CD-ROMなどのディスク

次のようなところには置かない

- 温度、湿度の高い場所、直射日光の当たる場所。
- 温度差の激しい場所。（結露が生じます）

取り扱い上のお願い

- 汚したり、傷つけたりしない。
- 落としたり、曲げたりしない。
- 字を書いたり、紙を貼らない。
- ケースからの出しかた、ケースへの入れかたについては上記カートリッジなしDVD-RAMディスク等と同じです。

汚れたときは（水を含ませた柔らかい布でふいた後、乾いた布でふく。必ず内から外へふく。）

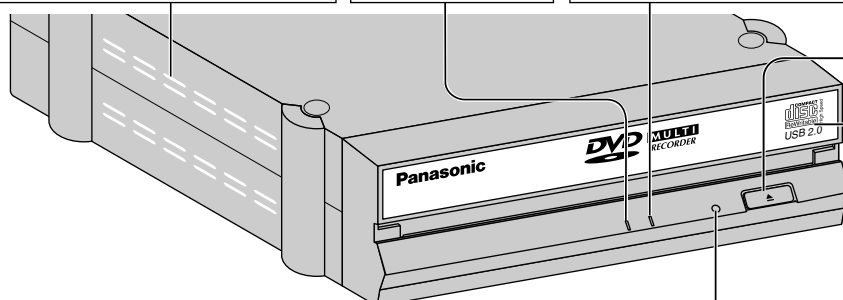
各部のなまえとはたらき

本機前面

通風孔（左右側面）
本機の内部温度の上昇を防ぐために設けた穴です。設置するときは、この穴をふさがないでください。**（故障の原因になります）**

電源ランプ
消　灯：電源「切」
緑点灯：電源「入」

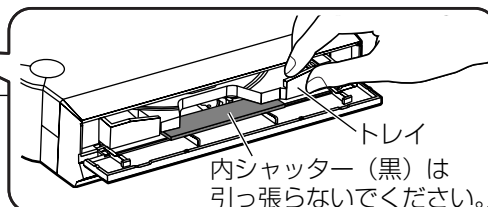
動作表示ランプ
消　灯：ディスク未セット時
緑点灯：ディスクセット時
橙点灯：記録時･再生時･トレイ開閉時
緑点滅：エラー発生時（☞68ページ）

開閉ボタン
トレイを出し入れする。

シャッター

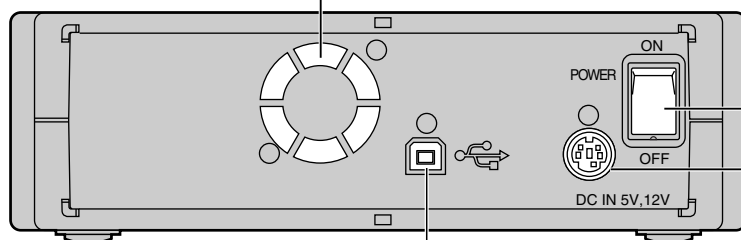
強制イジェクトホール

トレイが出なくなったときに使用します　通常は使用しないでください。（故障の原因になります）

■トレイの引き出しかた
1. 必ず本機の電源を切る
2. 強制イジェクトピン（付属）を4～5回押し込む
   徐々にトレイが出てきます。
3. 強制イジェクトピンを抜き取る
4. トレイの端を指先で水平に引き出す
   内シャッター（黒色）は引っ張らないでください。（故障の原因になります。）

■引き出したトレイの戻しかた
1. 本機の電源を入れる
2. 開閉ボタンを押す
   （引き出し位置によっては電源を入れると同時にトレイが戻るときもあります）

本機後面

冷却ファン
本機の内部温度が上昇すると、回転する。**（通常は回転しない）**

電源スイッチ
電源を「切」「入」する。

USBコネクタ
USBケーブル（付属）を接続する。
（☞ 18ページ）

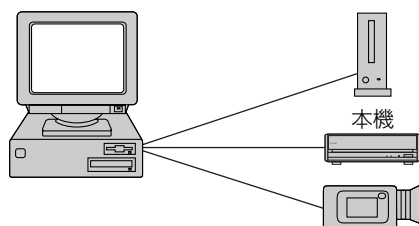
DC 入力端子
ACアダプター（付属）を接続する。（☞ 18ページ）

接続

USB 接続について

本機は、**USB2.0**に準拠した装置です。

- USB2.0は、USB1.1の後継規格でHigh スピード（理論値 480 Mbps）とFull スピード（理論値 12 Mbps）の両方の転送速度に対応しています。
- 従来の USB1.1でも使用可能で、パソコンの電源を切らずにケーブルを抜き差しできるホットプラグインにも対応しています。
- USBインターフェース用の端子は「⭠」と表示されている機器もあります。
- パソコンに USB2.0インターフェースが内蔵されていないときは、別途ボードが必要となります。
  推奨 USB2.0インターフェースボードについては、弊社ホームページをご覧ください。
  （DVD-RAMホームページ：**http://panasonic.jp/dvdram/**）

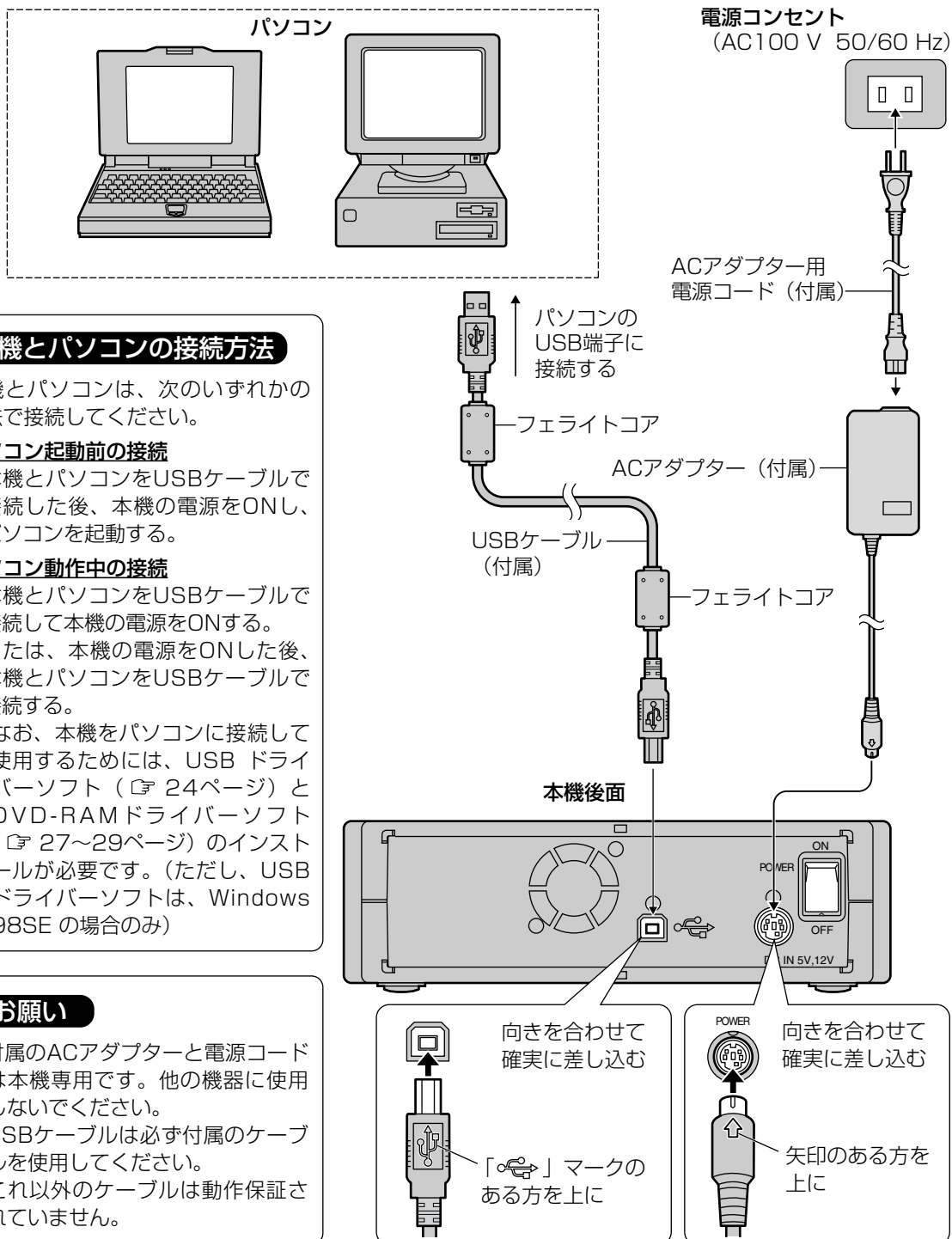
■USB接続例

- 必ず付属の USBケーブルをご使用ください。これ以外のケーブルは動作保証されていません。
- USBハブ経由での接続は、動作保証されていません。
- USB1.1対応ハブ経由でパソコンUSB2.0インターフェースに接続した場合、USB1.1（最大12 Mbps）の性能となります。

お知らせ

- パソコンの性能や、再生するディスクの種類、状態によっては、USB2.0、USB1.1環境それぞれで実現可能な書き込み速度、読み出し速度が使用できない場合があります。
- USB1.1インターフェース環境で接続された場合は、CD-R/RW への書き込みや、CD-RW の書き換え、CD-R/RW の読み込みは4倍速が限度となります。
  また、DVD-R/RW の書き込み、書き換えは1倍速未満の性能となり、正常に記録できないことがあります。
  DVD-Video 再生のときもこま落ちやノイズが発生することがあります。
- DVD-R への書き込み、DVD-RW の書き換え、8倍速以上でのCD-R への書き込み、CD-RW の書き換え、DVD-Video の再生は USB2.0でご使用ください。

接続のしかた

接続する前に

- 接続する装置の説明書もよくお読みください。
- 接続用のケーブル類は、正しい向きで確実に差し込んでください。

本機とパソコンの接続方法

本機とパソコンは、次のいずれかの方法で接続してください。

パソコン起動前の接続

- 本機とパソコンをUSBケーブルで接続した後、本機の電源をONし、パソコンを起動する。

パソコン動作中の接続

- 本機とパソコンをUSBケーブルで接続して本機の電源をONする。
  または、本機の電源をONした後、本機とパソコンをUSBケーブルで接続する。

※ なお、本機をパソコンに接続して使用するためには、USB ドライバーソフト（☞ 24ページ）とDVD-RAMドライバーソフト（☞ 27～29ページ）のインストールが必要です。（ただし、USBドライバーソフトは、Windows 98SE の場合のみ）

お願い

- 付属のACアダプターと電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- USBケーブルは必ず付属のケーブルを使用してください。
  これ以外のケーブルは動作保証されていません。

ディスクの入れかた

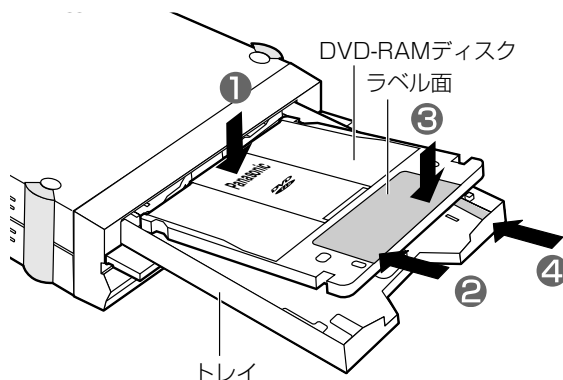
本機を横に設置した場合

■DVD-RAM ディスク

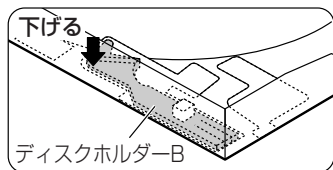
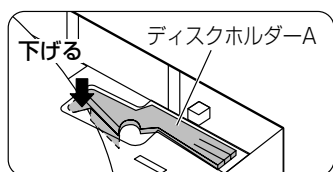
❶ DVD-RAM ディスクのシャッターの印刷面側を上にしてトレイに置く

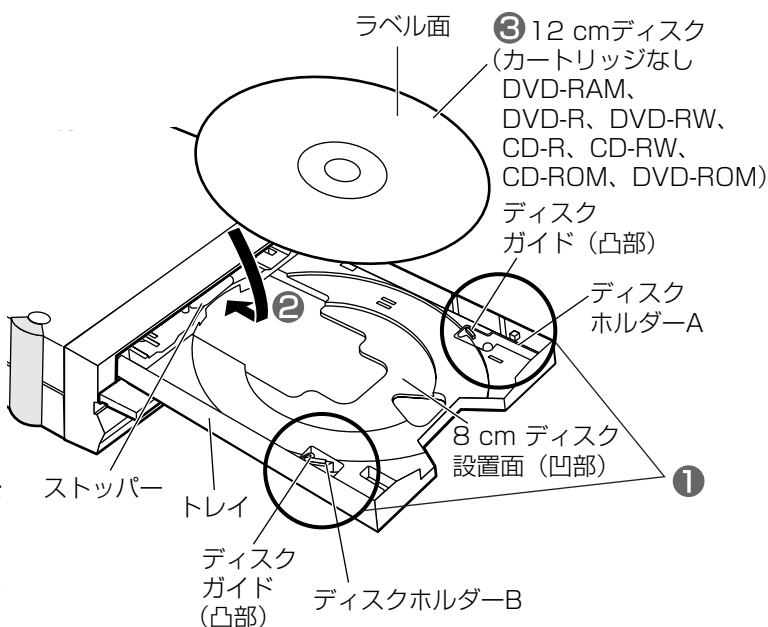
❷ DVD-RAM ディスクを前方（ドライブ側）へ2 cmほど押す

❸ DVD-RAM ディスクのラベル面側を軽く押さえ、浮きのないようにトレイにセットする

❹ 開閉ボタンまたはトレイの前面右側を軽く押すと、トレイが中に入る

■カートリッジなしDVD-RAM、DVD-R などのディスク

- 8 cm ディスクは、トレイの内側のディスク設置面（凹部）にセットしてください。
- 12 cm ディスクは、先端をストッパーの下に入れ、左右のディスクガイド（凸部）の内側にセットしてください。
- ディスクをディスクガイドの上に載せたりするなど正しくセットしていない場合は、正常に動作しません。また、ディスクを損傷させる原因となります。
- 8 cm DVD-RAM ディスクを本機に入れる場合、必ずカートリッジから取り出して、裸の状態にしてください。ディスクの取り出しかたは、ご使用のディスクの取扱説明書をご覧ください。

❶ ディスクホルダーA、Bをトレイ面と同じ高さになるよう下げる

❷ ディスクの先端をストッパーの下に入れる

❸ ディスクをトレイのディスクガイドに合わせてセットする

使用できるディスク

	横に設置	縦に設置
12 cm ディスク	○	○
8 cm ディスク	○	×

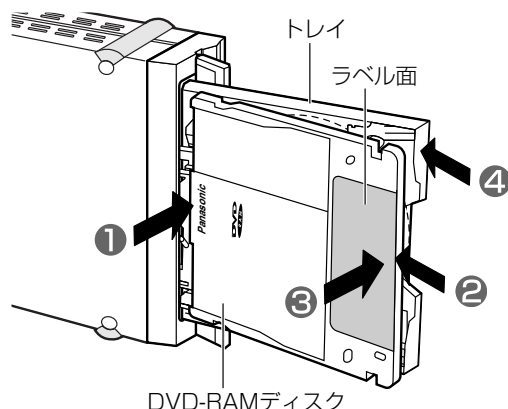
本機を縦に設置した場合

■DVD-RAM ディスク

❶ DVD-RAM ディスクのシャッターの印刷面側を上にしてトレイに置く

❷ DVD-RAM ディスクを前方（ドライブ側）へ2 cmほど押す

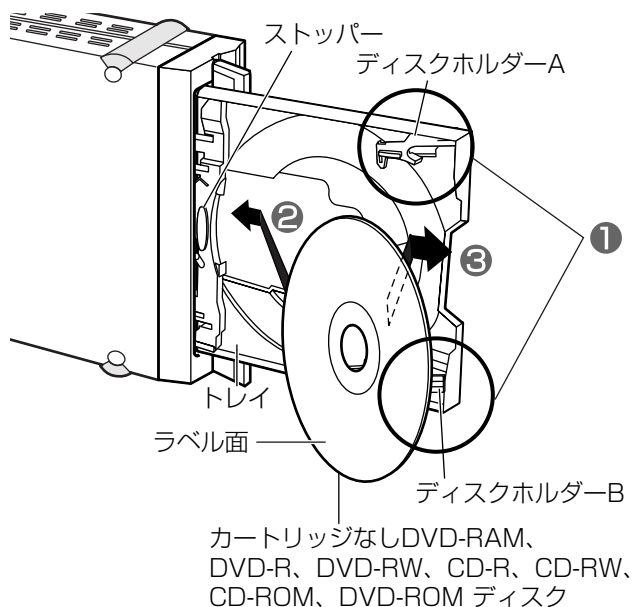
❸ DVD-RAM ディスクのラベル面側を軽く押さえ、浮きのないようにトレイにセットする

❹ 開閉ボタンまたはトレイの前面上側を軽く押すと、トレイが中に入る

■カートリッジなしDVD-RAM、DVD-R などのディスク

8 cmディスクは使えません。（市販の8 cmアダプターにつけても使えません）

❶ ディスクホルダーA、Bをトレイ面より上に上げる

❷ ストッパーとトレイ間にディスクを斜めに挿入して、ディスクをストッパー側に1 cmほど押す

❸ その状態でディスクをディスクホルダーA、Bとトレイの間にセットする

お願い

- 動作表示ランプ点灯中（橙）は、パソコンの電源を切ったり、ディスクを取り出さないでください。データが壊れたり、正しく書き込まれないおそれがあります。
- トレイにディスク（12 cm、8 cm）を2枚以上同時にセットしないでください。ディスクに傷がつきます。また、本機の故障の原因にもなります。

ソフトウェアのインストール

ソフトウェアをインストールする前に、下記の「ソフトウェア使用許諾契約書」をよくお読みください。
「ソフトウェア使用許諾契約書」に合意いただけた場合のみ、本ソフトウェアをお使いいただけます。
また、本ソフトウェアのインストールを実行した場合は、「ソフトウェア使用許諾契約書」に合意いただいたものといたします。

ソフトウェア使用許諾契約書

第1条　権　利

お客様は、本ソフトウェア（付属のCD-ROMや本書などに記録または記載された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできますが、著作権がお客様に移転するものではありません。

第2条　第三者の使用

お客様は、有償あるいは無償を問わず、本ソフトウェアおよびそのコピーしたものを第三者に譲渡あるいは使用させることはできません。

第3条　コピーの制限

本ソフトウェアのコピーは、保管（バックアップ）の目的のためだけに限定されます。

第4条　使用コンピュータ

本ソフトウェアは、コンピュータ1台に対しての使用とし、複数台のコンピュータで使用することはできません。

第5条　変更及び改造

本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証をいたしません。また解析、変更または改造の結果、万一お客様に損害を生じたとしても弊社および販売店等は一切の責任を負いません。

第6条　アフターサービス

お客様が使用中、本ソフトウェアに不具合が発生した場合、弊社P3カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。お問い合わせの本ソフトウェアに関して、弊社が知り得た内容の誤り（バグ）や使用方法の改良など必要な情報をお知らせいたします。

なお、下記ソフトウェアに関しては、それぞれのユーザーサポート部門にお問い合わせください。

- B's Recorder GOLD5 BASIC、B's CLiP5 のお問い合わせ先☞ 45ページ
- MyDVD® 4 のお問い合わせ先☞ 61ページ
- WinDVD™ 4 のお問い合わせ先☞ 64ページ

第7条　免　責

本ソフトウェアに関する弊社の責任は、上記第6条のみとさせていただきます。本ソフトウェアのご使用にあたり生じたお客様の損害および第三者からのお客様に対する請求については、弊社および販売店等は一切の責任を負いません。

第8条　その他

上記第6条のアフターサービスには、ユーザー登録が必要です。（☞ 26ページ）

なお、WinDVD™ 4 については、ユーザー登録は不要です。

お知らせ

B's Recorder GOLD5 BASIC、B's CLiP5 、MyDVD® 4 の使用許諾契約については、インストール時に表示されます。

ソフトウェアのインストール（つづき）

本製品には、以下のソフトウェアが付属されています。

1. DVD-RAM ドライバーソフト

DVD-RAM ディスクの読み書きを行うためのドライバーです。以下のユーティリティも含まれています。

■フォーマットソフト（DVDForm）

DVD-RAM ディスクをUDF形式やFAT32形式にフォーマットするソフトウェアです。

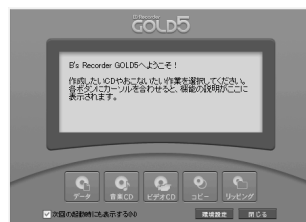
■DVD-RAM ディスクユーティリティ

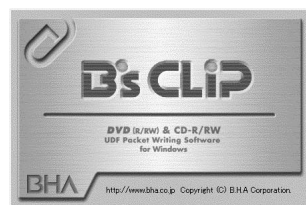
DVD-RAM ディスクの汚れ具合確認とソフトウェアライトプロテクトの設定／解除をするソフトウェアです。

2. アプリケーションソフト

アプリケーションは必要に応じてインストールしてください。

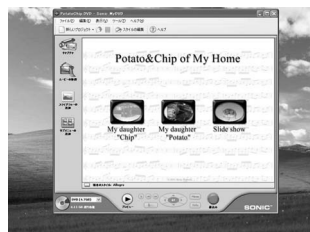
（1）CD-R/RW、DVD-R/RW ライティングソフト（B's Recorder GOLD5 BASIC ☞ 43ページ）

オリジナルのデータ CD/DVD、オーディオ CD などの作成、CDやDVDをまるごとバックアップするなど多彩な機能を備えたCD-R/RW、DVD-R/RW ライティングソフトウェアです。また、DVD-RAMディスクにも書き込みが可能です。

（2）CD-RW、DVD-RW パケットライティングソフト（B's CLiP5 ☞ 50ページ）

CD-RW/DVD-RW ディスクにファイル単位でデータを書き込むためのソフトウェアです。

（3）DVD ビデオレコーディング対応ソフト（DVD-MovieAlbumSE 3 ☞ 54ページ）

DVD-RAM に映像を記録・編集するソフトウェアです。
本機と組み合わせることで、パソコン上で DVD フォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」に対応したビデオレコーディングの記録・再生・編集環境を提供します。パソコン上で、DVD ビデオレコーダーと互換のあるディスクを作成したり、DVD ビデオレコーダーで記録した映像を再生したり、不要部分を削除したり、キーボードとマウスを使って簡単にプレイリストを作成したり、タイトル名の登録や変更をしたりといった編集をすることができます。また、切り出したデータやタイトル情報などを MyDVD® 4 に移して簡単にDVD-Videoを作成することもできます。

（4）DVD パーソナルオーサリングソフト（MyDVD® 4 ☞ 58ページ）

DVD-MovieAlbumSE 3 のエクスポート（出力）するMPEGの動画ファイルやDVフォーマット形式のAVIファイルや動作確認済みのMPEG2エンコーダーボードの出力するMPEGファイルなどを素材として、メニューを含むDVD-Video 形式のデータ作成と書き込みを行うソフトウェアです。またVideo-CD Ver2.0 を作成することもできます。

（5）DVD-Video 再生ソフト（WinDVD™ 4 ☞ 62ページ）

InterVideo社のソフトウェアDVD プレーヤーで、DVD-Video タイトルを高画質にデコードし、ハイクオリティなオーディオ再生を行うだけでなく、Video-CD も再生することができます。
メニューによるナビゲーションコントロール、音声や字幕の切り替えなど、DVD の持つ様々な機能に対応しています。また、プレーヤーからのコントロールだけでなく、画面を直接クリックしてコントロールすることもできるので、簡単に操作することができます。
Video-CD の再生機能では、Ver2.0のプレイバックコントロールにも対応しています。
また、本機にディスクを挿入するだけで、DVD-Video とVideo-CDを判別し、自動的に再生を開始することもできます。

（6）簡易バックアップソフト（FileSafe ☞ 65ページ）

指定したフォルダを自動的にバックアップしたり、内容更新されたフォルダのみを DVD-RAM ディスクにバックアップするソフトウェアです。
必要なファイルを効率よくバックアップすることができます。
バックアップされたファイルは、エクスプローラや各種アプリケーションで、そのまま使用できます。

USBドライバーソフトのインストール

Windows 98SE の場合、最初に USB ドライバーソフトのインストールが必要です。

USBドライバーはお手持ちのシステム環境によって、フロッピーディスクからインストールするか、もしくは CD-ROM ディスクからインストールするかの2通りのいずれかをお選びください。

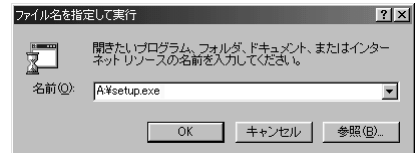
1

フロッピーディスクドライブからのインストール

付属のフロッピーディスク をセットする

❶ [スタート] → [ファイル名を指定して実行] を選択する

❷ [名前] 欄に [A:¥setup.exe] と入力する

❸ [OK] をクリックする
（インストールプログラムが起動されます）

本機以外のCD-ROMドライブからのインストール

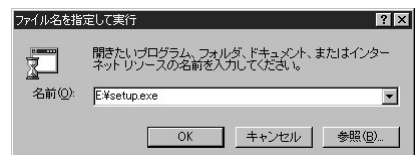
付属のCD-ROM をセットする

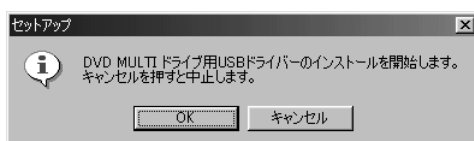
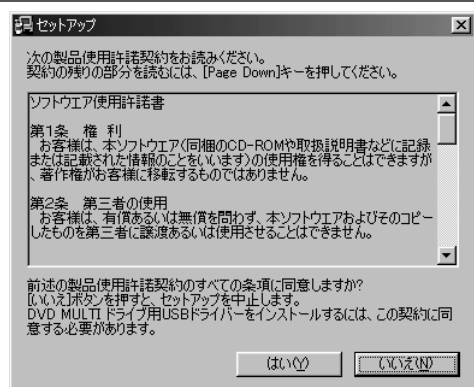
（自動的にインストールプログラムが起動します）

● 自動的にインストールプログラムが起動しない場合は、以下の手順で操作してください。
（CD-ROMをセットしたドライブのドライブ名を、Eドライブと仮定します）

❶ [スタート] → [ファイル名を指定して実行] を選択する

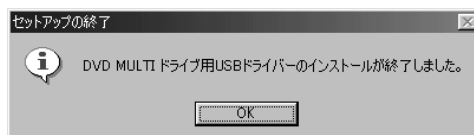
❷ [名前] 欄に [E:¥setup.exe] と入力する

❸ [OK] をクリックする
（インストールプログラムが起動されます）

下の画面が表示されたら、[USBドライバー] をクリックする

2 右の画面が表示されたら、[OK] をクリックする

3 右の画面が表示されたら、[はい]をクリックする

4 Aの画面が表示された場合

[OK] をクリックする

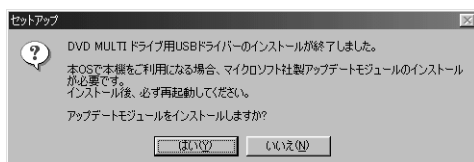
- USBドライバーソフトのインストールが終了です。

A

Bの画面が表示された場合

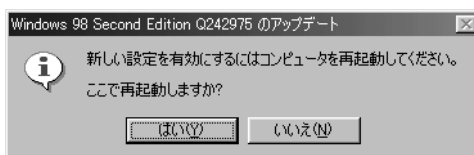
USBドライバーソフトのインストールは終了しましたが、マイクロソフト社製 Q242975 アップデートモジュールのインストールが必要です。

B

❶ [はい] をクリックする

- 画面の指示に従って作業を進めてください。

❷ 右の画面が表示されたら、フロッピーディスクが入っているときはディスクを取り出し、[はい] をクリックする

(パソコンが再起動されます)

- Q242975 アップデートモジュールのインストールが終了です。

ソフトウェアメニューの表示

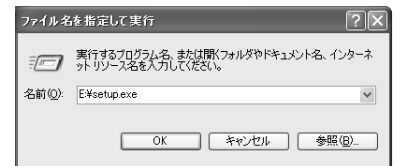
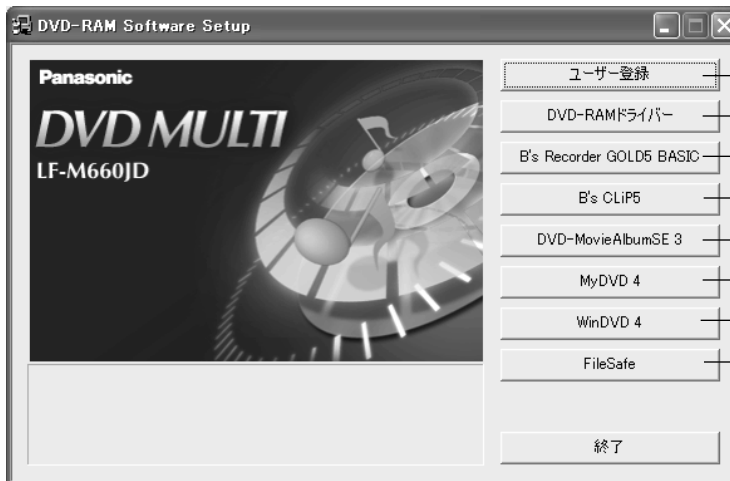
1 付属のCD-ROM を本機にセットする

（自動的にインストールプログラムが起動します）

● 自動的にインストールプログラムが起動しない場合は、以下の手順で操作してください。
（本機のドライブ名を、Eドライブと仮定します）

❶ [スタート] → [ファイル名を指定して実行] を選択する

❷ [名前] 欄に [E:¥setup.exe] と入力する

❸ [OK] をクリックする
（インストールプログラムが起動されます）

2 下の画面が表示されたら、インストールするソフトウェアのボタンをクリックする

ユーザー登録（☞ 下記）
DVD-RAMドライバー（☞ 27、28、29ページ）
B's Recorder GOLD5 BASIC（☞ 44ページ）
B's CLiP5（☞ 51ページ）
DVD-MovieAlbumSE 3（☞ 55、56ページ）
MyDVD 4（☞ 59、60ページ）
WinDVD 4（☞ 63ページ）
FileSafe（☞ 66ページ）

※ Windows 98SE の場合は、USBドライバーボタンも表示されます。（☞ 24ページ）

重 要 **本機のユーザー登録について**

ユーザー登録については、簡単に登録ができるインターネットでの登録をおすすめします。
上記手順2で [ユーザー登録] をクリックすると、http://panasonic.jp/p3/pro/LFM660JD.html に接続されます。詳細については、ユーザー登録カードをご覧ください。
登録がない場合、または記入事項が正確でない、あるいは記入もれのある場合は、無登録となり、サポート／バージョンアップ等のサービスが受けられなくなる場合がありますのでご注意ください。
（登録完了の通知はしませんので、ご了承ください）

サポート／バージョンアップについて

サポート／バージョンアップの際に、製造番号が必要な場合がありますので、保証書に記載されている製造番号を71ページの「光ディスク関連トラブル承り書」および74ページの「ご連絡いただきたい内容」欄に転記していただくことをおすすめします。

DVD-RAM ドライバーソフトのインストール

お願い

- ご使用のパソコンに、本製品に付属されている B's CLiP5 以外の他社のパケットライティングソフトウェアやUDF ファイルシステムがインストールされている場合は、あらかじめ削除してください。
  DVD-RAM ドライバーソフトを、B's CLiP5 以外の他社のライティングソフトと重複してインストールした場合は、正常に動作しないことがあります。
  また、他社のパケットライティングソフトウェアで記録されたディスクは互換性が無く、使用できなくなる場合がありますので、予めご了承ください。

お知らせ

- Windows 2000 およびWindows XP では、Administrator（管理者）グループに所属したユーザー名でログオンして、インストールしてください。
- DVD-RAM ドライバーソフトのインストール後、続けて付属のソフトウェアをインストールするときは、再起動の段階で[いいえ、あとでコンピュータを再起動します。]を選択し、最後にインストールするソフトウェアで[はい、今すぐコンピュータを再起動します。]を選択すると、再起動を1回だけにすることができます。

Windows 98SE/Me の場合

1 **26ページ手順2の画面で、[DVD-RAM ドライバー］をクリックして、右の画面が表示されたら、［次へ］をクリックする**

- 画面の指示に従って、作業を進めてください。

2 **インストール終了後、**

❶ [はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選択する

❷ [完了］をクリックする

（パソコンが再起動されます）

- 再起動後に本機でのDVD-RAM ディスクの読み書きが可能となります。
- 30、31ページの「インストール後の確認」で、DVD-RAM ドライバーソフトが正常にインストールされたか確認してください。

DVD-RAM ドライバーソフトのインストール（つづき）

Windows 2000 の場合

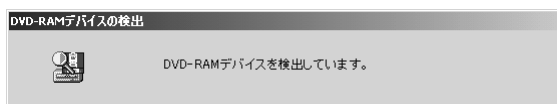
1 26ページ手順2の画面で、「DVD-RAM ドライバー」をクリックして、右の画面が表示されたら、［次へ］をクリックする

- 画面の指示に従って、作業を進めてください。

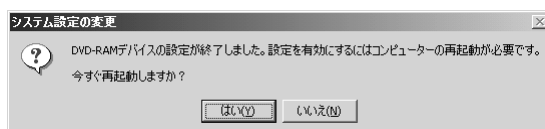
---

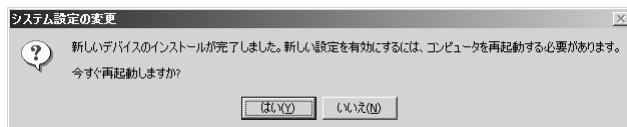
2 インストール終了後、［完了］をクリックする

- DVD-RAM デバイスの検出が行われます。

---

3 DVD-RAM デバイス設定後、［はい］をクリックする

（パソコンが再起動されます）

---

4 インストール完了後、下の画面が表示された場合は、［はい］をクリックする

（パソコンが再起動されます）

- 再起動後に本機での DVD-RAM ディスクの読み書きが可能となります。
- 30、31ページの「インストール後の確認」で、DVD-RAM ドライバーソフトが正常にインストールされたか確認してください。

Windows XP の場合

1

26ページ手順2の画面で、
「DVD-RAM ドライバー」をクリックして、
右の画面が表示されたら、［次へ］をクリックする

● 画面の指示に従って、作業を進めてください。

2

インストール終了後、

❶ **［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選択する**

❷ **［完了］をクリックする**
（パソコンが再起動されます）

● 再起動後に UDF 形式の DVD-RAM ディスクの読み書きが可能となります。

お知らせ

DVD-RAM ディスクに書き込むためには、ドライブのプロパティで［このドライブで CD 書き込みを有効にする］をオフにする必要があり、本機では補助ツールでオフにすることができます。オンになった場合は、右下の画面が表示されますので［はい］をクリックしてください。
オフの状態では、Windows XP 標準の CD-R/RW ディスクへの書き込み機能は使用できません。CD-R/RW ディスクへ書き込みをするときは、［このドライブで CD 書き込みを有効にする］をオンにしてください。

補助ツールを無効にしたいときは：
［スタート］→［プログラム］→［スタートアップ］→［RAMASST］（右クリック）→［削除］を選択し、再起動する。

また、再度有効にしたいときは：
1 **［スタート］→［プログラム］→［スタートアップ］（右クリック）→［開く-All Users(P)］を選択し、スタートメニューを表示させる**

2 **スタートメニュー画面上のアイコンのないところで右クリックする。**
3 **［新規作成］→［ショートカット(S)］を選択し、C:¥Windows¥System32¥RAMASST.exeを指定し、再起動する。**

※補助ツールの有効/無効を設定するときは、Administrator（管理者）グループに所属したユーザー名でログインしてください。

インストール後の確認

以下の方法で、本機が正常に認識されていることを確認してください。

■［マイコンピュータ］上での確認

Windows 98SE/Me/2000 の場合

本機の接続とドライバーソフトのインストールが正常に行われると、［マイコンピュータ］上にアイコンが2個追加されます。
右の画面例では、次のように認識されています。
Eドライブ：リムーバブルディスク
（DVD-RAM ディスク用）
Dドライブ：CD-ROM
（CD-ROM/CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD-ROM 用）

- 正常に表示されない場合、［表示］メニューの［最新の情報に更新］を選択してください。
- DVD-RAMに読み書きするときはEドライブを、それ以外のディスクを読み書きするときはDドライブをご使用ください。
- システム構成によってはドライブ名（アルファベット）が変わる可能性があります。

Windows XPの場合

本機を接続すると、［マイコンピュータ］上にアイコンが追加されます。
右の画面例では、DドライブがDVD MULTI ドライブとして認識されています。

- 正常に表示されない場合、［表示］メニューの［最新の情報に更新］を選択してください。

■［デバイスマネージャ］上での確認

製品名は“DVD-RAM SW-9572”と表示されます。

Windows 98SE/Me の場合

1 ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］→［システム］を開いて、［デバイスマネージャ］タブをクリックする。
右の画面（各装置の接続状況）が表示されます。

2 画面中の［CD-ROM］、［ディスクドライブ］を、それぞれダブルクリックする。

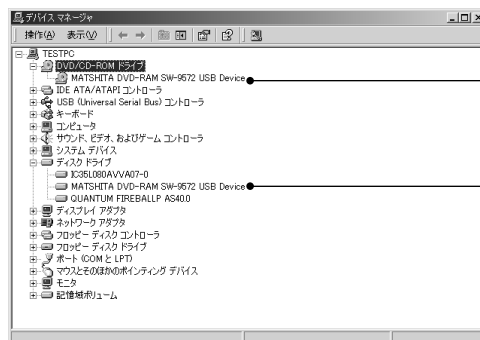
本機のCD-ROM/CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD-ROM側が認識されています。

本機のDVD-RAM ディスク側が認識されています。

Windows 2000 の場合

1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]を開いて[ハードウェア]タブをクリックする。

2 [デバイスマネージャ]欄の[デバイスマネージャ]ボタンをクリックする。
右の画面（各装置の接続状況）が表示されます。

3 画面中の[DVD/CD-ROMドライブ]、[ディスクドライブ]をダブルクリックする。

本機のCD-ROM/CD-R/CD-RW/DVD-R/DVD-RW/DVD-ROM側が認識されています。

本機のDVD-RAM 側が認識されています。

Windows XP の場合

1 [スタート]→[コントロールパネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]→[ハードウェア]を開いて[デバイスマネージャ]をクリックする。

2 右の画面（各装置の接続状況）が表示されます。

3 画面中の[DVD/CD-ROMドライブ]をダブルクリックする。

本機が認識されています。

本機の取り外しかた

パソコン動作中に本機をパソコンから取り外す場合は、以下の手順で行ってください。

本機を取り外すための操作を行うまえに以下の内容をご確認ください。

(1) 本機の動作表示ランプが緑点灯あるいは消灯していること
(2) 本機にセットしたディスクを取り出していること。
(3) 他のUSB機器がアクセスされていないこと

■Windows 98SE/Me/2000 の場合

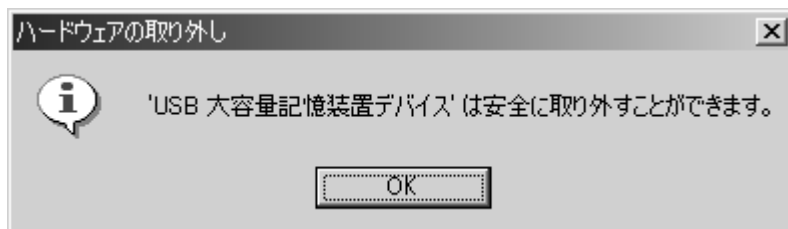
1 タスクトレイに表示されているハードウェアの取り外しをクリックする

画面は、Windows 2000 の例です。

2 メニューが表示されたら、
Windows 98SE の場合
　[Panasonic USB DVD/CD-ROM - ドライブ (E:,D:)の停止] を
Windows Me の場合
　[USB CD-ROM - ドライブ (D:,E:)の停止] を
Windows 2000 の場合
　[USB大容量記憶装置デバイス - ドライブ(D:, E:)を停止します] をクリックする

※ ( ) 内の表示は、ドライブ接続先によって変わります。

画面は、Windows 2000 の例です。

3 「ハードウェアの取り外し」画面が表示されたら、[OK] をクリックする

画面は、Windows 2000 の例です。

4 USB ケーブルを取り外し、本機の電源をOFFにする

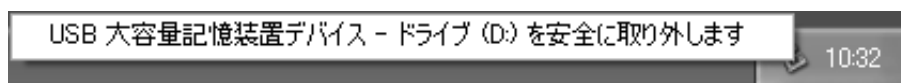
お願い

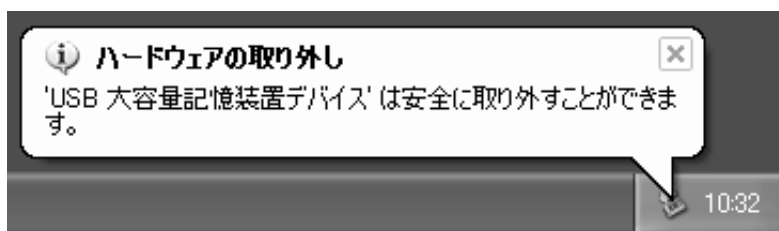
- Windows Me をご使用の場合は、シャットダウンする前に本機を取り外してください。そうしないと、終了途中でパソコンが停止（ハングアップ）することがあります。

■ Windows XP の場合

1 タスクトレイに表示されているハードウェアの取り外しをクリックする

2 メニューが表示されたら、
［USB大容量記憶装置デバイス - ドライブ(D:)を安全に取り外します］をクリックする

USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (D:) を安全に取り外します　10:32

※（ ）内の表示は、ドライブ接続先によって変わります。

3 下の画面が表示されたら、右上の×印をクリックする

4 USBケーブルを取り外し、本機の電源をOFFにする

DVD-RAM ディスクの論理フォーマット

DVD-RAM ディスクにファイルを書き込むためには、論理フォーマットをする必要があります。論理フォーマットをした DVD-RAM ディスクは、フロッピーディスクやハードディスクと同じ感覚でファイルを書き込むことができます。
本機は DVD-RAM ディスクに対して自動交替セクター機能を標準装備しています。この機能は、データ記録時に記録したセクターをベリファイ（確認）して、記録状態の悪いセクターを発見し、ユーザ管理領域外に自動的にデータを退避（交替）させる機能で、より信頼性の高い記録を実現します。また、付属の B's Recorder GOLD5 BASIC（☞ 43ページ）を使用してベリファイなしで高速に記録することもできます。用途に合わせて使い分けることをおすすめします。

フォーマット形式について

DVD-RAM ディスクのフォーマット形式には、UDF形式とFAT32形式があります。
用途に合わせて、使い分けることをおすすめします。
2.8 GB（8 cm）/ 5.2 GB / 9.4 GB両面タイプのDVD-RAM ディスクについては、片面毎にフォーマットをしてください。

■UDF（Universal Disk Format）形式

DVDの統一標準フォーマットです。ファイルサイズの大きな（画像、音声データ）読み書きを高速で行うことができます。

■FAT32形式

Windows の標準フォーマットで、ハードディスクなどで使用されている論理フォーマットです。

お知らせ

- ディスクタイプ識別データがカートリッジなしディスク記録許可になっていない5.2 GB（両面）/ 2.6 GB（片面）カートリッジなしDVD-RAM ディスクはフォーマットできません。

Windows 2000/XP でのフォーマットソフト（DVDForm）の起動について

- フォーマットソフトをご使用の時は、Administrator（管理者）グループに所属したユーザー名でログインしてください。
- フォーマットソフトの起動前に、DVD-RAM ディスクを使用中の全てのアプリケーションを終了してください。

Windows 98SE/Me/2000 でのフォーマットソフトの起動

1 フォーマットする DVD-RAM ディスクを本機にセットする

2
❶ ［マイコンピュータ］を開く

❷ DVD-RAM ディスクに割り当てられた［リムーバブルディスク］を、マウスの右ボタンでクリックする

3 メニュー中の［フォーマット］をクリックする

下のフォーマット画面が表示されるので、必要な作業をする。

Windows XP でのフォーマットソフトの起動

1 フォーマットするDVD-RAM ディスクを本機にセットする

2
❶ ［マイコンピュータ］を開く

❷ 本機に割り当てられたアイコンを、マウスの右ボタンでクリックする

3 メニュー中の［フォーマット］をクリックする

下のフォーマット画面が表示されるので、必要な作業をする。

フォーマット画面について

フォーマットを開始する

DVDForm を終了する

UDF形式を選択したときは、ボリュームラベル名を入力する
- 入力しない場合、“UDF+西暦年+月+日”が自動的に設定されます。

物理フォーマットをする場合に選択する
（通常は、選択する必要はありません）
- DVD-RAM ディスク上の全セクターを検査し、不良セクターの代替処理を行います。
（通常は、4.7 GB/9.4 GB DVD-RAM ディスク、2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM ディスクは約40分～90分で、8 cm DVD-RAM ディスクは20分程度で終了します）

▼ **をクリックし、フォーマット形式を選択する**
（☞36～38ページ）

推奨フォーマットについて

■PCデータ記録で使用するときは、フォーマット種別“ユニバーサルディスクフォーマット（UDF1.5）”を選択します。

DVD-RAM ディスクでWindows / Mac OS※1などの異なるOS 環境でデータ交換ができます。

1 フォーマット種別で、[ユニバーサルディスクフォーマット（UDF1.5）] を選択する

2 ボリュームラベルを入力する

3 [開始] をクリックする

※1 UDF1.5形式のDVD-RAM ディスクの読み書きができるのはMac OS 9 です。

■AVデータ記録で使用するときは、フォーマット種別“ユニバーサルディスクフォーマット（UDF2.0）”を選択します。

4.7 GB/9.4 GB DVD-RAM ディスクをDVDフォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」準拠のDVDビデオレコーダーや同規格準拠のPC用記録ソフトで使用するとき、あるいは8 cm DVD-RAM ディスクをDVD ビデオカメラで使用するときのみ選択してください。

1 フォーマット種別で、[ユニバーサルディスクフォーマット（UDF2.0）] を選択する

2 ボリュームラベルを入力する

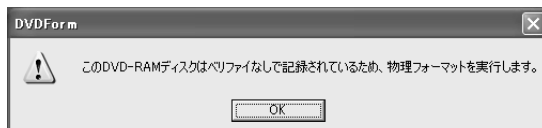
3 [開始] をクリックする

お知らせ

- Windows XPの場合、付属のフォーマットソフト（DVDForm）で DVD-RAM ディスクをフォーマットした後で、DVD-RAM アイコンが CD-ROM アイコンに変わることがあります。このような場合は、エクスプローラの [表示] メニューの [最新の情報] を選択して、表示の更新をしてください。
- B's Recorder GOLD5 BASICを使ってベリファイなしで書き込んだDVD-RAMディスクをフォーマットするとき、下の画面が表示されます。[OK]をクリックして、物理フォーマットを実行してください。

DVDForm

このDVD-RAMディスクはベリファイなしで記録されているため、物理フォーマットを実行します。

OK

フォーマット形式の説明

■4.7 GB / 9.4 GB DVD-RAM ディスクの場合

ユニバーサルディスクフォーマット（UDF1.5）	●DVD-RAM の標準フォーマットです。Windows/Mac OS※1などの異なるOS環境でデータ交換ができます。 ●UDF1.5形式の DVD-RAM ディスクは、DVD フォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」準拠の DVD ビデオレコーダーや同規格準拠の PC 用記録ソフトでは使用できません。
ユニバーサルディスクフォーマット（UDF2.0）	●DVD フォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」準拠の DVD ビデオレコーダーや同規格準拠のPC用記録ソフトで使用するためのフォーマット形式です。
FAT32	●Windows 95（OSR2※2）/98/Me/2000/XP でサポートされたフォーマットです。 ●FAT32形式のDVD-RAM ディスクは、Windows 95（OSR2※2以外）/Windows NT では使用できません。

■2.6 GB / 5.2 GB DVD-RAMディスクの場合

ユニバーサルディスクフォーマット（UDF1.5）	●DVD-RAM の標準フォーマットです。Windows / Mac OS※1などの異なるOS環境でデータ交換ができます。
FAT32	●Windows 95（OSR2※2）/98/Me/2000/XP でサポートされたフォーマットです。 ●FAT32形式の DVD-RAM ディスクは、Windows 95（OSR2※2以外）/Windows NT では使用できません。

■8 cm DVD-RAM ディスクの場合

ユニバーサルディスクフォーマット（UDF1.5）	●DVD-RAM の標準フォーマットです。Windows / Mac OS※1などの異なるOS環境でデータ交換ができます。 ●UDF1.5形式の DVD-RAM ディスクは、DVD フォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」準拠の DVD ビデオレコーダー、DVD ビデオカメラや同規格準拠の PC 用記録ソフトでは使用できません。
ユニバーサルディスクフォーマット（UDF2.0）	●DVD フォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」準拠の DVD ビデオレコーダー、DVD ビデオカメラや同規格準拠の PC 用記録ソフトで使用するためのフォーマット形式です。DVD ビデオレコーダーや DVD ビデオカメラで使用されるディスクは、このフォーマットをしてください。
FAT32	●Windows 95（OSR2※2）/98/Me/2000/XP でサポートされたフォーマットです。 ●FAT32形式の DVD-RAM ディスクは、Windows 95（OSR2※2以外）/Windows NT では使用できません。

※1 UDF1.5 形式のDVD-RAM ディスクの読み書きができるのは Mac OS 9 です。
※2 システムプロパティの情報が“4.00.950 B”または“4.00.950 C”のOSです。
［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］→［システム］を開いて確認できます。

フォーマット形式の説明（つづき）

各OSで使用可能なフォーマット形式とフォーマット直後の使用できる片面の空き容量と使用容量

●4.7 GB / 9.4 GB DVD-RAM ディスクのアンフォーマット時の片面全容量は4.7 GB
●2.6 GB / 5.2 GB DVD-RAM ディスクのアンフォーマット時の片面全容量は2.6 GB
●8 cm DVD-RAM ディスクのアンフォーマット時の片面全容量は1.4 GBですが、論理フォーマット直後のOSから見た空き容量、使用容量は以下の値になります。

ディスク種別	フォーマット形式	空き容量	OSと使用容量	
			Windows 98SE/Me	Windows 2000/XP
4.7 GB 9.4 GBの片面	UDF1.5	4.26 GB※3	384 KB	282 KB
	UDF2.0	4.26 GB※3	384 KB	282 KB
	FAT32	4.25 GB※3	4 KB	4 KB
2.6 GB 5.2 GBの片面	UDF1.5	2.32 GB	128 KB	158 KB
	FAT32	2.31 GB	4 KB	4 KB
1.4 GB 2.8 GBの片面	UDF1.5	1.3 GB※3	96 KB	92 KB
	UDF2.0	1.3 GB※3	96 KB	92 KB
	FAT32	1.3 GB※3	4 KB	4 KB

※3 当社製4.7 GB / 9.4 GB DVD-RAM ディスクや8 cm DVD-RAM ディスクと本機に添付のフォーマットソフトを使用した場合のフォーマット直後のディスク容量です。

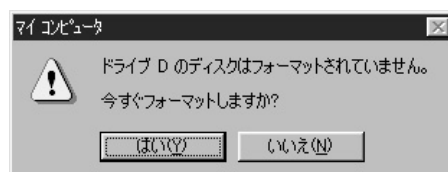
DVDレコーダーで記録されたDVD-RAMディスクについて

DVDフォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」準拠のDVDビデオレコーダーやDVDビデオカメラ及び同規格準拠の DVD-MovieAlbumSE 3 などのPC用記録ソフトで記録されたDVD-RAMディスク上には“DVD_RTAV”フォルダーが作成され、このフォルダー内にビデオレコーディング規格の各種ファイルが作成されます。PC上でこのフォルダーやフォルダー内のファイルにアクセスしないでください。

このフォルダー内の一部のファイルは 2 GBを超えているものがあり、容量が 2 GBを超えるファイルは、Windows 98SE の仕様上の制限により、コピーができなかったり、容量表示が正しく表示されなかったりする場合があります。
また、このフォルダーやフォルダー内のファイルを削除、変更すると、DVDビデオレコーダーやPC用記録ソフトで再生ができなくなります。
PC上でこれらのファイルにアクセスするには、DVD-MovieAlbumSE 3（☞ 54ページ）をご使用ください。
DVDビデオレコーダーやDVD-MovieAlbumSE 3 で作成したデータのコピーは、DVD-MovieAlbumSE 3 に付属のコピーツールをお使いください。

お願い

● **Windows 98SE/Me で画面上に以下のメッセージが表示され、[はい] をクリックした後に起動される標準フォーマットソフトでDVD-RAM ディスクのフォーマットをしないでください。**

Windows 98SE/Meに付属の標準フォーマットソフトでDVD-RAM ディスクをフォーマットすると、2 GBを超えるFAT16形式となり、後の使用に支障をきたす場合があります。

DVD-RAM ユーティリティの使いかた

本製品には、DVD-RAMディスクユーティリティが付属されています。
DVD-RAMユーティリティは、DVD-RAMディスクに対して以下の機能を提供します。

（1）DVD-RAMディスクの汚れ具合確認
（2）DVD-RAMディスクのソフトウェアライトプロテクトの設定 / 解除

起動のしかた

■Windows 98SE/Me/2000 の場合

1 DVD-RAMディスクを本機にセットする

2 ❶ [マイコンピュータ] を開く

❷ DVD-RAMディスクに割り当てられた[リムーバブルディスク]を、マウスの右ボタンでクリックする

3 メニュー中の [プロパティ] をクリックする

次ページの手順4につづく

■Windows XP の場合

1 DVD-RAMディスクを本機にセットする

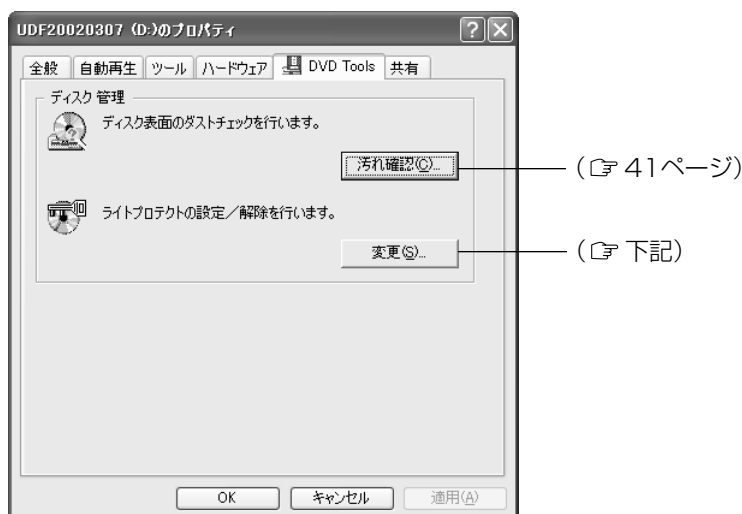
2 ❶ [マイコンピュータ] を開く

❷ DVD-RAMディスクに割り当てられたアイコンを、マウスの右ボタンでクリックする

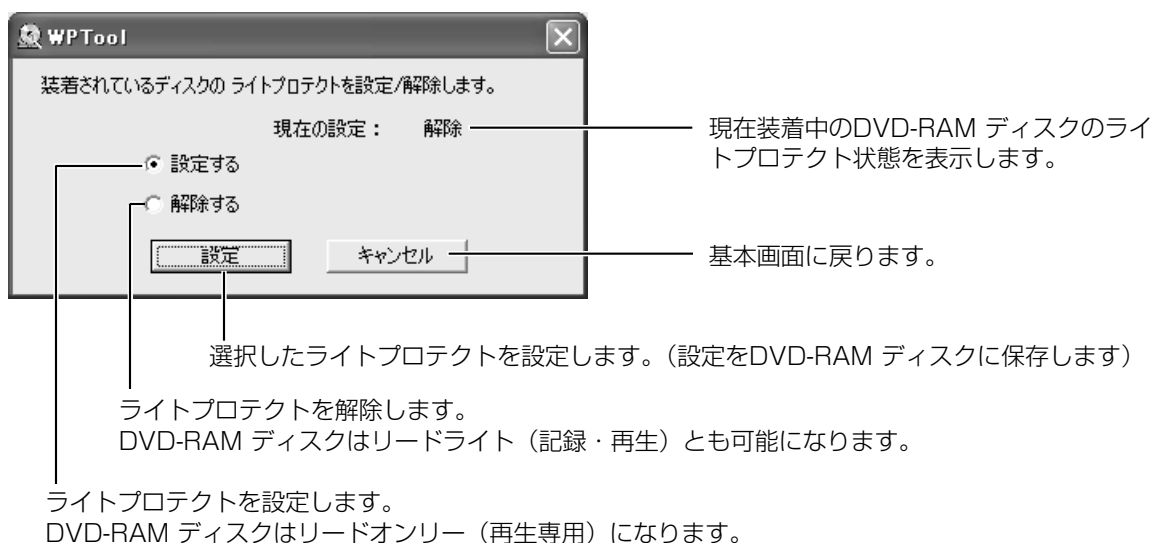
3 メニュー中の [プロパティ] をクリックする

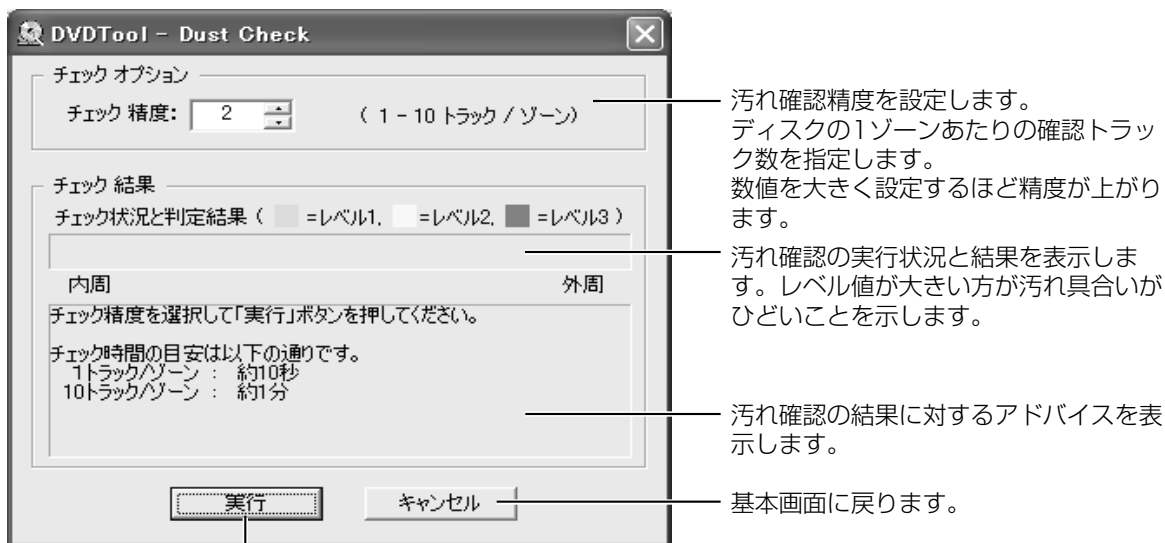
次ページの手順4につづく

4 [DVD Tools] をクリックする

下の画面が表示されます。

ライトプロテクト設定／解除のしかた

ライトプロテクトを設定／解除したい4.7 GB DVD-RAM ディスクや8 cm DVD-RAM ディスクを本機にセットし、上記手順4の画面で［変更］をクリックする。

次の画面が表示されます。

ダストチェックの使い方

表面の汚れを確認したいDVD-RAMディスクをドライブにセットし、前ページ手順4の画面で［汚れ確認］をクリックする。

次の汚れ確認画面が表示されます。

汚れが検出されない場合の確認結果例

汚れが検出された場合の確認結果例

お知らせ

- この確認結果は、参考であり、リードライト(記録・再生)動作を保証するものではありません。

お願い

- ディスクおよびドライブをクリーニングしてもレベル2やレベル3の汚れ具合が表示される場合は、傷や粘着性の汚れなどの影響が考えられます。このディスクに記録することは危険と思われますので再生専用として使うことをおすすめします。

ファイルのコピーやフォーマットができないとき

下記の点をお確かめください。その原因と対処方法を以下に示します。

原　　因	対　処　方　法
カートリッジのライトプロテクトタブが「書き込み禁止」になっている。	カートリッジのライトプロテクトタブを解除してください。（☞12ページ）
ディスクにライトプロテクトが設定されている。	ユーティリティソフトを用いて、ディスクのライトプロテクトを解除してください。（☞40ページ）
カートリッジなし状態での記録を未サポートのディスクである。	ディスクによっては、カートリッジなしディスクへの記録をサポートしていない場合があります。 カートリッジに入れてお使いください。
ディスクの汚れなどで記録予備領域（交替領域）を90％以上使用し、本機が自動的に書き込み禁止状態になっている。（この状態の場合、本機前面の動作表示ランプ（緑色）が連続3回１秒毎の周期で点滅します）	再生専用として使うか、ディスクのデータのバックアップをとり、ディスクのお手入れ（☞11ページ）をして物理フォーマットすることをおすすめします。（☞35ページ）

DVD-RAM ディスク以外のディスクの使いかた

3ページの表を参照の上、使用目的に応じて付属のアプリケーションソフトの中から適当なものを選んで各ディスクをご使用ください。

CD-R、DVD-R ディスク

付属の B's Recorder GOLD5 BASIC（☞43ページ）や MyDVD® 4（☞58ページ）を使用して、データCD／DVD や音楽 CD の作成、DVD-Video 形式のデータの書き込みなどができます。

CD-RW、DVD-RW ディスク

付属の B's CLiP5（☞50ページ）のフォーマット機能でCD-RW、DVD-RW ディスクをフォーマット後に、ファイル単位でデータを書き込むことができます。またB's Recorder GOLD5 BASIC（☞43ページ）やMyDVD® 4（☞58ページ）を使用してデータや音楽を書き込むこともできます。

DVD-Video の再生

付属の WinDVD™ 4（☞62ページ）を使用して、DVD-Video が再生できます。
DVD-Video を再生するには、本機と DVD-Video のリージョン番号が一致している必要があります。本機のリージョン番号は、工場出荷時に「2」（日本）に設定されています。「2」以外のリージョン番号のDVD-Video を再生するときに確認画面が表示されたら、その指示に従ってください。リージョン番号の設定は合計5回までですることができますが、出荷時に1回目を使用していますので、4回まで可能です。

B's Recorder GOLD5 BASIC の使いかた

DVD-RAM DVD-R DVD-RW CD-R CD-RW

B's Recorder GOLD5 BASIC とは…

オリジナルのデータ CD 、オーディオ CD などを作成したり、CD や DVD をまるごとバックアップするなど、多彩な機能を備えたCD-R/RW、DVD-R/RW ライティングソフトウェアです。また、DVD-RAMディスクにも書き込みが可能です。

■ウィザードでらくらく作成

起動時に表示されるウィザードを利用すれば、初めての方でも指示に従って進めていくだけで、簡単にCD/DVDを作成できます。

■ユーザーフレンドリーな画面で簡単作成

見慣れたエクスプローラのような操作画面を採用し、直感的な操作でCD/DVDの作成ができます。

■オリジナル音楽CDの作成

音楽CDやWAVEファイル、MP3/TwinVQなどからお気に入りの曲だけを集めて、オリジナル音楽CDの作成ができます。また、アーティスト名や曲目などを表示するCD-TEXTの音楽CDも作成できます。

■充実のエンコード／デコード機能

音楽CDからMP3/TwinVQへのダイレクトエンコード機能を搭載。また、ID3タグ編集機能を搭載し、MP3ファイルの曲タイトルやアーティスト名、アルバム名など情報を編集可能。

■AutoPlayCDの作成

MP3やTwinVQの再生が可能な「B'sPlayer」を標準添付。AutoPlayCD作成機能を使用して、CD挿入後、自動的に音楽再生ができるCDの作成が可能。（パソコン上でのみ使用可能）

■ミュージックデータベースGracenoteのサポート

音楽CDのバックアップ時、及びリッピング時にインターネット上のミュージックデータベースに接続し、アルバム名、曲目、アーティスト名などを自動取得できます。

■アナログ音声に対応したダイレクトカッティング機能

LPレコードやマイク入力などのアナログ音声がCD-Rディスクやハードディスクへダイレクトに記録できる「ダイレクトカッティング機能」を搭載。

■Video-CDの作成が可能

家庭用のDVDプレーヤーやパソコンで再生可能なVideo-CDの作成ができます。（Video-CDの性質上、DVDプレーヤーによっては再生不可能な場合があります。）

■CD/DVDのまるごとコピー機能

難しい設定をすることなく、CD/DVDをまるごとコピーできる機能を搭載。複数枚のディスクに連続書き込みも可能です。（著作権保護信号の記録されているCD及びDVDは対象外となります。）

■CD/DVDを活用するための豊富なツールを用意

・HDDバックアップ機能により、指示に従って進めてゆくだけで大容量HDDも簡単にバックアップすることができます。
・ベストCD作成機能で、複数枚の音楽CDから好きな曲を選んで、お気に入りの音楽CDの作成ができます。この機能は各音楽CD間の音量を均一化できる「ノーマライズ」機能を搭載しています。

■ブータブルCD/DVDやオートランCD/DVD作成機能を装備

CD-ROMから起動できるEl Torito準拠のブータブルCD/DVDを作成することができます。CD/DVDをパソコンにセットするだけで自動的に実行されるオートランCD/DVDの作成もサポート。

B's Recorder GOLD5 BASIC の使いかた (つづき)

動作条件について

本ソフトウェアをご使用になるためには、パソコン本体に以下の環境が必要です。

対応パソコン	DOS/V、PC98-NX シリーズ
対応 OS（日本語版）	Windows 98SE／Me／2000／XP
CPU	Pentium Ⅱ 300 MHz 以上
メモリー	64 MB以上（128 MB以上を推奨）
ハードディスク空き容量	本ソフトウェアをインストールするためには、約30 MBのハードディスクの空き容量が必要です。 本ソフトウェアを使用してCDを作成するためには、約800 MBのハードディスクの空き容量が必要です。ただし、ISO 9660形式のCD-ROMをオンザフライ書込みで作成する場合は、100 MB程度のハードディスクの空き容量があれば作成できます。 DVD-Video のイメージ作成時には、DVDディスク容量に相当するHDDの空き容量（推奨5 GB以上）が必要となります。
ディスプレイ	800 × 600 ドット以上、High Color（16 ビット）以上

インストールのしかた

1 26ページ手順2の画面で、[B's Recorder GOLD5 BASIC] をクリックして、右の画面が表示されたら、[次へ] をクリックする

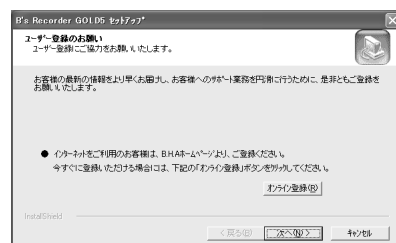
● 画面の指示に従って、作業を進めてください。

2 ❶ 名前、所属、シリアル番号（CDケースに添付されている B's Recorder GOLD5 BASIC用の枠内の番号）を半角大文字で入力する

❷ [次へ] をクリックする

● 画面の指示に従って、作業を進めてください。

3 ❶ インターネットからオンライン登録する場合は、[オンライン登録] をクリックする

❷ オンライン登録しない場合、または オンライン登録が完了したら [次へ] をクリックする

4 インストール終了後、

❶ [はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択する

❷ [完了] をクリックする
（パソコンが再起動されます）

● 再起動後に B's Recorder GOLD5 BASIC が使用可能となります。

起動のしかた

［スタート］→［プログラム］→［B.H.A］→［B's Recorder GOLD 5］→［B's Recorder GOLD 5］を選択する

● デスクトップ上にアイコンを作成した場合は、アイコンをクリックしても起動できます。

使いかた

操作方法の概要は、次ページ以降のクイックガイドをご覧ください。より詳しい操作方法やトラブル回避方法は、電子マニュアルをご覧ください。

電子マニュアルを見るには

［スタート］→［プログラム］→［B.H.A］→［B's Recorder GOLD 5］→［ユーザーズマニュアル］を選択します。

対応ドライブ一覧を見るには

ご使用中の B's Recorder GOLD5 BASIC のバージョンでサポートしているドライブの一覧を確認することができます。最新のドライブを購入した場合など、B's Recorder GOLD5 BASIC が使用できない場合は、対応ドライブ一覧を確認してください。

対応ドライブ一覧は、［ヘルプ］→［対応ドライブ一覧］を選択します。

お知らせ

● B's Recorder GOLD5 BASICを使用してベリファイなしで書き込んだDVD-RAMディスクをB's Recorder GOLD5 BASIC以外のソフトで使用するときは、B's Recorder GOLD5 BASICで［メディア全体を標準消去する］を選択して消去するか、本機添付のフォーマットソフト（DVDForm）で物理フォーマットをしてください。なお、消去あるいは物理フォーマットは約40分～90分かかります。

ユーザーサポートについて

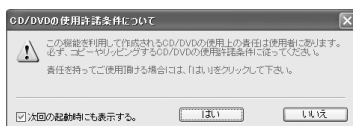
B's Recorder GOLD5 BASIC とB's CLiP5（☞50ページ）についてのお問い合わせについては、下記の連絡先にて受け付けております。

株式会社ビー・エイチ・エーサポートセンター
※ご回答には、2～3営業日お時間をいただく場合がございます。
TEL：(06)4861-8234（B's Recorder GOLD5 BASIC／B's CLiP5専用回線）
FAX：(06)6378-3336
月～土　10：00 ～ 17：00 (夏季、年末年始、特定休業日、祝祭日を除く）
オンラインサポート：http：//www.bha.co.jp/support/

クイックガイド

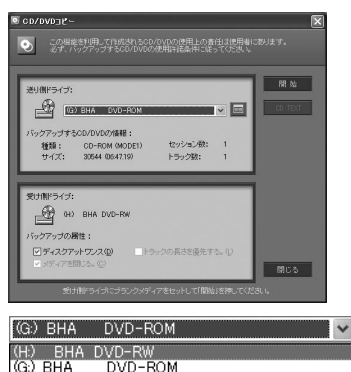
■CD/DVD のコピー

1 「補助メニュー」から[コピー]を選択する

2 「CD/DVDの使用許諾条件について」のダイアログが表示されたら[はい]をクリックする

「CD/DVDコピー」の画面が表示されます。

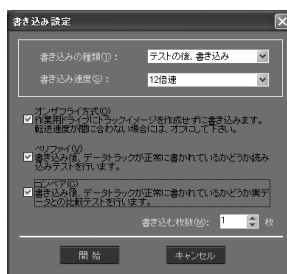
> **お知らせ**
>
> 「次回の起動時にも表示する」のチェックボックスを「オフ」にすると次回からこのダイアログメッセージを表示しません。

3 送り側ドライブ（読み出し元ドライブ）を選択し、選択したドライブにコピー元ディスクを挿入する

(G:) BHA DVD-ROM
(H:) BHA DVD-RW
(G:) BHA DVD-ROM

> **お知らせ**
>
> をクリックするとCD/DVDコピーに関する詳細な設定ができます。通常は、デフォルトでご使用いただいても問題はありません。また、音楽CDのコピーをする場合、CD TEXT対応ドライブをご使用の場合は［CD TEXT］をクリックすることで、アーチスト名や楽曲情報を書込んだCD TEXT付の音楽CDとしてコピーを作成することもできます。CD/DVDコピーに関する詳細な設定やCD TEXTの詳細については、ヘルプまたは電子マニュアルをご覧ください。

4 受け側ドライブにディスクを挿入し、［開始］をクリックする

> **お知らせ**
>
> オリジナルに忠実なコピーを作成したい場合は、ディスクアットワンスのチェックボックスを「オン」でご使用ください。また、詳細な設定に関しては、ヘルプまたは電子マニュアルをご覧ください。

5 書き込みスピード、書き込みの種類（テスト書き込みをするかどうか）、オンザフライ書き込みをするかどうかの設定をし、［開始］をクリックする

> **お知らせ**
>
> データCD/DVDをコピーする場合は、書き込み終了後に正しく書込めたかどうかをチェックする「コンペア」や「ベリファイ」などの検証処理をすることもできます。

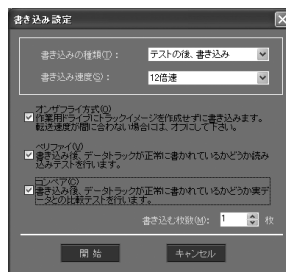
6 書き込みが終了したら、［OK］をクリックする

■データ CD/DVD の作成

1 「補助メニュー」から[データ]を選択する

2 画面上段のファイラーまたはエクスプローラを使用して、画面下段のウェルに書き込みたいデータを登録する

3 ボリュームラベルを設定する

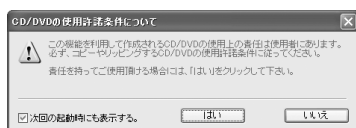
4 書き込みスピード、書き込みの種類（テスト書き込みをするかどうか)、オンザフライ書き込みをするかどうかの設定をし、［開始］をクリックする

お知らせ

データCD/DVDを作成する場合は、書き込み終了後に正しく書込めたかどうかをチェックする「コンペア」や「ベリファイ」などの検証処理をすることもできます。

5 書き込みが終了したら［OK］をクリックする

■音楽CDの作成 リッピング編

1 補助メニューから[リッピング]を選択する

2 「CD/DVDの使用許諾条件について」のダイアログが表示されたら、[はい] をクリックする

お知らせ

[次回の起動時にも表示する]のチェックボックスを「オフ」にすると次回からこのダイアログメッセージを表示しません。

3 読み出しに使用するドライブを選択する

複数のドライブが接続されている場合は、ドライブの選択画面が表示されます。

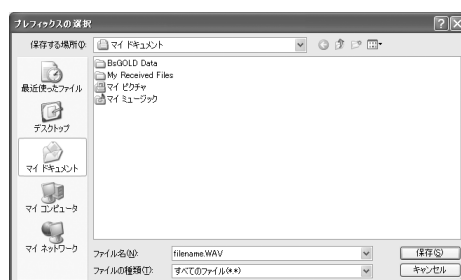
4 CDをドライブに挿入する

5 チェックボックスを「オン／オフ」させて、リッピングしたいトラックを選択する

6 読み込み速度を選択し、[開始] をクリックする

音楽ファイルの保存先を選択するダイアログが表示されます。

7 保存先とファイル名を入力し、[保存] をクリックする

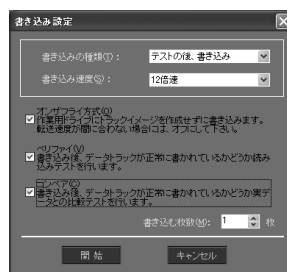
リッピングが始まります。

お知らせ

音楽ファイルの保存は、 をクリックすることで、WAV形式だけでなく、MP3やTwinVQなどの圧縮オーディオ形式でも保存することができます。また、音楽トラックのファイル名をCD TEXT情報やCDDBで検索して設定したり、B'sPlayer用のプレイリストなどを作成することもできます。

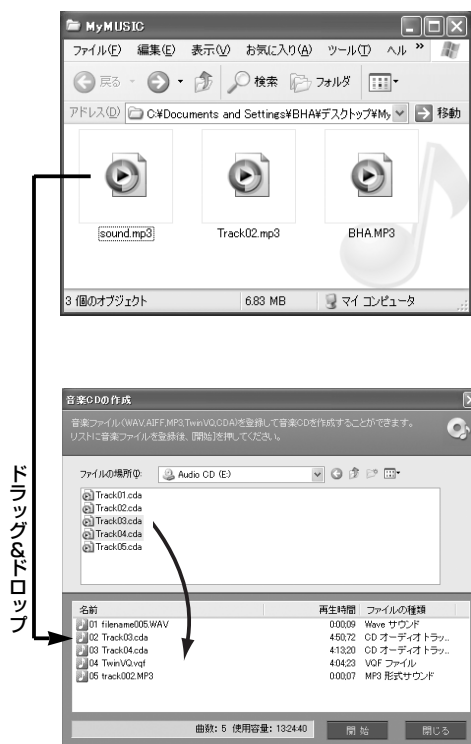
8 リッピングが終了したら、[OK] をクリックする

9 リッピング作成画面が表示されたら、[閉じる] をクリックする

■音楽CDの作成 作成編

1 「補助メニュー」から[音楽CD]を選択する

2 画面上段のファイラーまたはエクスプローラを使用して、画面下段のウェルに書き込みたい音楽データ(WAVまたはAIFF、MP3、TwinVQ、CDA形式）を登録する

3 書き込みスピード、書き込みの種類（テスト書き込みをするかどうか)、オンザフライ書き込みをするかどうかの設定をし、［開始］をクリックする

4 書き込みを終了したら［OK］をクリックする

B's CLiP5 の使いかた

B's CLiP5 とは…

パケットライトという方式で CD-RW 、DVD-RW ディスクにファイル単位でデータを書き込むためのソフトウェアです。CD-RW 、DVD-RW ディスクでも、フロッピーディスクや DVD-RAM ディスクと同じような感覚でファイルを移動、保存、消去できます。

■ファイル／フォルダ単位での追記を実現

プリマスタリングソフトではできなかったファイル単位での書き込みをすることができ、ディスクがいっぱいになるまで何度でもデータの追記をすることができます。

■FDD／MOのような操作性を実現

エクスプローラなどからドラッグ＆ドロップするだけでファイルやフォルダのコピーができるFDDやMOのような使用感を実現しています。また、ファイルやフォルダの削除などをすることもできます。

■RWディスクに完全対応

CD-RWやDVD-RWなどのRWディスクの特長に完全対応し、ファイルの消去を行うとディスクの空き領域が増加します。

■ベリファイ機能を搭載

正しいデータを書き込めたかどうかを検証するベリファイ機能を搭載。これによって、書き込み済みのデータの高い信頼性を確保します。

■世界標準UDF(Universal Disk Format)Version1.5に完全対応

B's CLiP5 は、世界標準のファイルフォーマットであるUDF(Universal Disk Format)のVersion1.5に対応しています。 世界標準のファイルフォーマットを採用しているので互換性についても将来的に安心です。

動作条件について

本ソフトウェアをご使用になるためには、パソコン本体に以下の環境が必要です。

対応パソコン	DOS/V、PC98-NX シリーズ
対応 OS（日本語版）	Windows 98SE／Me／2000／XP
CPU	Pentium Ⅱ 300 MHz 以上推奨
メモリー	32 MB以上
ハードディスク空き容量	5 MB以上
ディスプレイ	800 × 600 ドット以上、High Color（16ビット）以上

インストールのしかた

1 26ページ手順2の画面で、[B's CLiP5] をクリックして、右の画面が表示されたら、[次へ] をクリックする

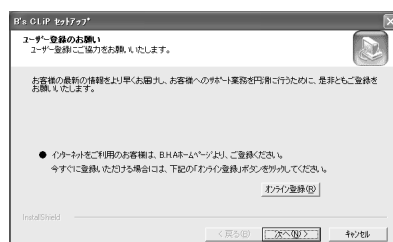
● 画面の指示に従って、作業を進めてください。

2 ❶ 名前、所属、シリアル番号（CDケースに添付されている B's CLiP5 用の枠内の番号）を半角大文字で入力する

❷ [次へ] をクリックする

● 画面の指示に従って、作業を進めてください。

3 ❶ インターネットからオンライン登録する場合は、[オンライン登録] をクリックする

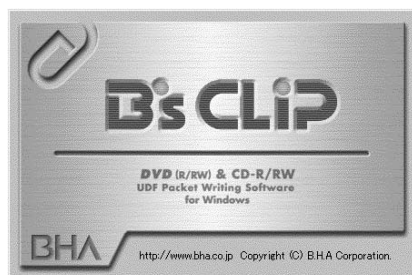
❷ オンライン登録しない場合、または オンライン登録が完了したら [次へ] をクリックする

4 インストール終了後、

❶ [はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択する

❷ [完了] をクリックする
（パソコンが再起動されます）

● 再起動後に B's CLiP5 が使用可能となります。

起動について

B's CLiP5 は常駐型のソフトのため、通常は起動・終了の操作は必要ありません。Windows が起動するとタスクバー（画面の右下）にCLiPのアイコン が表示されます。

B's CLiP5 の使いかた（つづき）

使いかた

操作方法の概要は、次ページのクイックガイドをご覧ください。より詳しい操作方法やトラブル回避方法は、電子マニュアルをご覧ください。

B's CLiP5 は、OS起動後にシステムに常駐し、CD-RWやDVD-RWをフロッピーのように使用できるようにします。ファイルやフォルダの書き込みや削除などの基本的な操作はFDDやMOなどと同じ操作ですることができます。

ただし、音楽CDやデータCDを作成する場合に使用するプリマスタリングソフトとは異なり、使用する上で次の点について注意してください。

■フォーマット

B's CLiP5を使用して書き込みをするためには、FDDやMOなどを使用する場合と同様に必ずディスクをフォーマットする必要があります。

■読み出し

CD-RWやDVD-RWディスクを使用する場合は、B's CLiP5の専用リーダーソフトをインストールすることで読み出しができます。

■ディスクの消去

B's CLiP5でフォーマットしたCD-RWやDVD-RWディスクをプリマスタリングソフトで使用するためには、ディスクの消去をする必要があります。

■ディスクの取り出し

マウントされたディスク（フォーマット済みのディスクをドライブに挿入している場合）は、ドライブのイジェクトボタンを押しても取り出すことができないことがあります。できるかぎり、B's CLiP5を使用してディスクを取り出してください。

■制限

Windows 98SE/Meで使用する場合、容量が2 GBを超えるファイルはコピーなどができない場合があります。Windows 2000/XPでは、この制限はありません。

お願い

他社製のパケットライトソフト（ランダムアクセスライトソフト）とは、共存できません。B's CLiP5をインストールする前に必ず、アンインストールしてください。
なお、他社のパケットライティングソフトウェアで記録されたディスクは互換性が無く、使用できなくなる場合がありますので、予めご了承ください。

お知らせ

● 本機に付属の B's CLiP5 は DVD-R、CD-R のパケット記録には対応しておりません。

電子マニュアルを見るには

［スタート］→［プログラム］→［B.H.A］→［B's CLiP］→［ユーザーズマニュアル］を選択します。

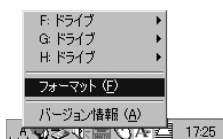
ユーザーサポートについて

B's Recorder GOLD5 BASIC のユーザーサポートをご覧ください。（☞45ページ）

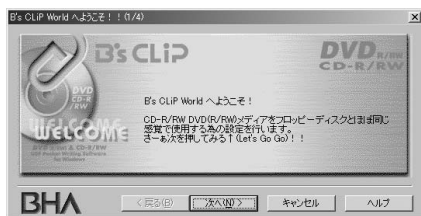
クイックガイド

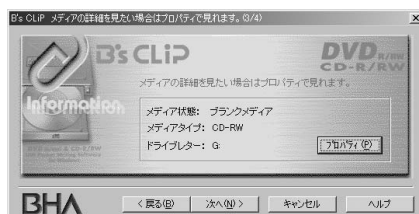
■CD-RW/DVD-RWディスクのフォーマット

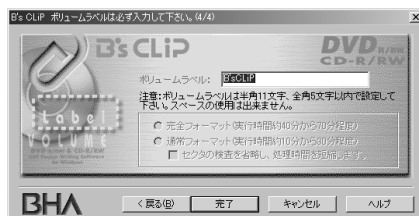
CD-RW/DVD-RWディスクのフォーマットには、ディスク全体の物理フォーマットをする完全フォーマットと、ファイル情報を消去し見かけだけのフォーマットをする通常フォーマットの2種類があります。完全フォーマットは、フォーマットに長い時間が必要ですが、初めて使用する場合は必ずこのフォーマットをする必要があります。通常フォーマットは、一度フォーマットをしたディスクに対してのみできます。CD-RW/DVD-RWのフォーマットは、次の手順でします。

1 ディスクをドライブに挿入した後、タスクトレイに常駐したB's CLiP5のアイコンを右クリックし、メニューから「フォーマット」を選択する

お知らせ

フォーマットは、ディスクを挿入した後に表示されるメニューから [B's CLiP] をクリックする手順でもできます。

2 フォーマッタが起動したら［次へ］をクリックする

3 フォーマットするドライブを選択し、［次へ］をクリックする

4 ディスクのプロパティを確認するときは［プロパティ］をクリックし、しないときは、［次へ］をクリックする

5 ボリュームラベルを入力し、［完了］をクリックする

フォーマットが始まります。
フォーマットが終了するとディスクがマウントされます。

お知らせ

一度フォーマットしたディスクでは、通常フォーマットか完全フォーマットかを選択できます。通常フォーマットは完全フォーマットより短時間で処理が終了します。

6 ［OK］をクリックする

■ディスクを取り出す

タスクトレイに常駐したB's CLiP5のアイコンを右クリックし、メニューから[取り出し]を選択する

DVD-MovieAlbumSE 3 の使いかた

DVD-MovieAlbumSE 3 とは…

本機と組み合わせることで、パソコン上で DVD フォーラム策定の「ビデオレコーディング規格」に対応したビデオレコーディングの記録・再生・編集環境を提供します。
パソコン上で、DVDビデオレコーダーと互換のあるディスクを作成したり、DVDビデオレコーダーで記録した映像を再生したり、不要部分を削除したり、キーボードとマウスを使って簡単にプレイリストを作成したり、タイトル名の登録や変更をしたりといった編集をすることができます。

■最大4時間の MPEG2 画像をビデオレコーディングフォーマットで DVD-RAM ディスクに作成

ソフトウェア MPEG2 エンコーダを使った“ファイルからの画像取り込み”機能による記録で DV フォーマット形式の AVI ファイルや、デジカメで撮影した静止画ファイルなどを使って作成することができます。
記録モードは高画質（XP）モード（最大約1時間）、標準（SP）モード（最大約2時間）、長時間（LP）モード（最大約4時間）の3つをサポートしています。

■DV カメラからの直接映像取り込み

DV カメラから直接映像を取り込み、ビデオレコーディングフォーマットの DVD-RAM ディスクを作成することができます。
DV カメラからの取り込みには IEEE1394 のインターフェースが必要です。

■サムネイルによる簡単再生

DVD-MovieAlbumSE 3 を起動して、記録済みのディスクを本機にセットすることで、記録されたプログラムの先頭フレームを自動的にサムネイル表示します。見たいプログラムを選んでダブルクリックするだけで簡単に再生できます。
また、サムネイル画像は、プログラム内のお好みの画像に変更することができます。

■見たいシーンをプレイリストやインデックス機能を使って簡単頭出し

記録されたプログラムの中から簡単に見たいシーンを探せます。簡単な操作でプログラム中のお好みのシーンにマーカーを挿入したり、プレイリストを作成したりすることで、より簡単に頭出しができるようになります。

■画像の切り出し機能

プログラムやシーンやプレイリストを MPEG2 や BMP 形式のファイルに切り出し（エクスポート）することができます。また切り出したデータやタイトル情報などを MyDVD® 4 に移して簡単に DVD-Video を作成することもできます。
画像を切り出すときに、ブラウザで見ることができる HTML 形式のメニューなども作成されます。ファイルと同時に出力されるそのファイルの入ったフォルダーを DVD-R や CD-R に焼くと、クリックするだけで再生できるメニュー付きのディスクとして活用できます。

■キーボードやマウスや最大128倍速シャトルサーチによる簡単編集

パソコンならではのキーボードやマウスによる編集に加え、最大128倍速の高速シャトルサーチ機能をサポートしました。これにより、お好みのシーンにマーカーを挿入したり、プレイリスト編集でのシーンの設定やタイトル名の登録、変更などを簡単に行うことができます。

■ビデオレコーディングフォーマットディスクのコピーソフトを添付

ビデオレコーディング規格に準拠したコピーソフトを添付しています。このソフトを使用すると、簡単な操作でディスクプログラム単位のコピーをすることができます。
なお、エクスプローラなどでは、ビデオレコーディング規格に準拠したディスクのコピーはできません。添付のコピーソフトをご使用ください。

お知らせ

- リアルタイム記録を行うには別途、動作確認済み MPEG2 エンコーダーボードと、ボードに付属するリアルタイム記録に対応したDVD-MovieAlbum が必要です。詳細は、弊社ホームページをご覧ください。
  アドレス：**http://panasonic.jp/dvdram/connect/**

動作条件について

本ソフトウェアをご使用になるためには、パソコン本体に以下の環境が必要です。

対応パソコン	DOS/V、PC98-NXシリーズ
対応 OS（日本語版）	Windows 98SE※1／Me／2000／XP（Microsoft DirectX8.1以上が必要です。DVD-MovieAlbumSE 3と一緒にインストールされます。）
CPU	Pentium Ⅲ 450 MHz 以上、Celeron 633 MHz 以上 （推奨 Pentium Ⅲ 1 GHz 以上）
メモリー	128 MB以上
ハードディスク空き容量	60 MB以上
ディスプレイ	1024 × 768 ドット以上、High Color（16ビット）以上
サウンドカード	48 KHz ステレオ再生をサポートするサウンドカード（PCI 推奨）

※1 Internet Explorer 5.0以降をインストールしてください。

■DVD-MovieAlbumSE 3 で使用できるディスクについて

UDF2.0 形式でフォーマットされた、4.7 GB および 9.4 GB 両面タイプの DVD-RAM ディスクおよび8 cm DVD-RAM ディスクに限ります。2.6 GB および 5.2 GB 両面タイプの DVD-RAM ディスクは使用できません。

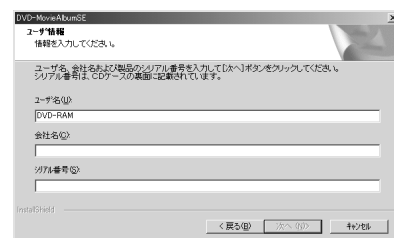
インストールのしかた

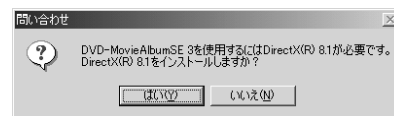
■Windows 98SE/Me/2000 の場合

1 26ページ手順2の画面で、「DVD-MovieAlbumSE 3」をクリックして、右の画面が表示されたら、［次へ］をクリックする

- 画面の指示に従って、作業を進めてください。

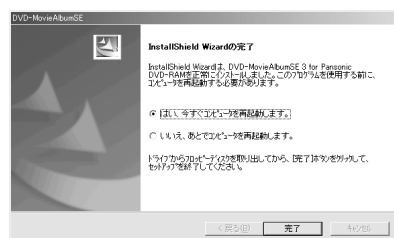
2 ユーザー名、会社名、シリアル番号（CD ケースに添付されている DVD-MovieAlbumSE 3 用の枠内の番号で、ハイフンも含む）を半角大文字で入力し、［次へ］をクリックする

- 画面の指示に従って、作業を進めてください。

3 右の画面が表示された場合は、［はい］をクリックする

- 表示されなかった場合は手順4に進んでください。

4 インストール終了後、

❶［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選択する

❷［完了］をクリックする
（パソコンが再起動されます）

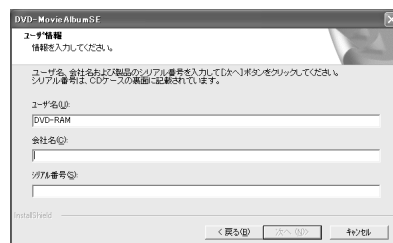
- 再起動後に DVD-MovieAlbumSE 3 が使用可能となります。

DVD-MovieAlbumSE 3 の使いかた（つづき）

■Windows XP の場合

1 26ページ手順2の画面で、「DVD-MovieAlbumSE 3」をクリックして、右の画面が表示されたら、［次へ］をクリックする

● 画面の指示に従って、作業を進めてください。

2 ユーザー名、会社名、シリアル番号（CD ケースに添付されているDVD-MovieAlbumSE 3 用の枠内の番号で、ハイフンも含む）を半角大文字で入力し、[次へ]をクリックする

● 画面の指示に従って、作業を進めてください。

3 インストール終了後、

❶ ［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選択する

❷ ［完了］をクリックする
（パソコンが再起動されます）

● 再起動後に DVD-MovieAlbumSE 3 が使用可能となります。

お知らせ

● Windows 2000 および Windows XP では Administrator（管理者）グループに所属したユーザー名でログオンしてインストールをしてください。

起動のしかた

［スタート］→［プログラム］→［Panasonic］→［DVD-MovieAlbumSE］→［DVD-MovieAlbumSE］を選択する

● デスクトップ上にアイコンを作成した場合は、アイコンをクリックしても起動できます。

使いかた

操作方法やトラブル回避方法は、電子マニュアルをご覧ください。

電子マニュアルを見るには

Acrobat®Reader（Version 4.0以上）が必要です。インストールされていない場合は、付属CD-ROM から下記の操作を実行してください。
あらかじめインストールメニュー画面（DVD-RAM Software Setup）は終了させておいてください。

■Adobe Acrobat Reader 5.0Jをインストールする

1 **Windowsの［スタート］メニューで「ファイル名を指定して実行」をクリックする**
〈ファイル名を指定して実行〉画面が表示されます。

2 **［参照］をクリックし、CD-ROMドライブ内の［ar505jpn.exe］を選択して、［開く］をクリックする**
E：¥AcrobatReader¥Japanese¥ar505jpn.exe（CD-ROM が入っているドライブがEドライブの場合）

3 **ダイアログボックスが表示されたら、［OK］をクリックする**
インストーラーが起動し、〈Acrobat Reader 5.0のセットアップ〉画面が表示されます。

4 **順次、画面指示に従ってください**

■電子マニュアルを起動する

［スタート］→［プログラム］→［Panasonic］→［DVD-MovieAlbumSE］→［オンラインマニュアル］を選択する

作成したディスクについて

● 本機と DVD-MovieAlbumSE 3 の組み合わせで作成した DVD フォーラム策定のビデオレコーディング規格準拠 DVD-RAM ディスクは、DVD-RAM 再生とビデオレコーディング規格に対応した DVD プレーヤーや DVD レコーダーで再生できます。また、ビデオレコーディング再生のアプリケーションソフトを使うと、DVD-RAM 再生に対応した DVD-ROM ドライブや DVD-RAM ドライブなどでも再生できます。ただし、すべての装置での再生を保証するものではありません。

ユーザーサポートについて

● 74ページの「商品についてのお問い合わせは」をご参照ください。

MyDVD® 4 の使いかた

MyDVD® 4 とは…

動作確認済みの MPEG2エンコーダーボードの出力する MPEG ファイルや DVD-MovieAlbumSE 3 のエクスポート（出力）する MPEG の動画ファイルや DV フォーマット形式の AVI ファイルなどを素材として、メニューを含む DVD-Video 形式のデータ作成と書き込みをするソフトウェアです。また、Video-CD Ver.2.0 を作成することもできます。

■作成した DVD-Video 形式の映像データを DVD-RやDVD-RW に直接書き出し

DVD-Video 形式の映像データをディスクイメージとして DVD-R（for General）やDVD-RWに直接書き出すことができます。また、作成したオーサリングデータを DVD-RAM やハードディスクに保存すれば、映像の再編集や再生テストなどができます。

■DV カメラからの直接映像取り込み

DV カメラから直接映像を取り込み DVD-Video を作成することができます。
DV カメラからの取り込みには IEEE1394 のインターフェースが必要です。

お知らせ

- ビデオのデータレートは最大8.3 Mbpsまで使用できます。これ以上の MPEG2 データは MyDVD® 4 では使用できません。詳細は下記ホームページの製品紹介（該当商品品番）をご覧ください。
  アドレス：**http://panasonic.jp/dvdram/**

■インタラクティブに楽しめるDVDメニューが手軽に作成できる

市販の DVD-Video のように、見たい映像を選択して呼び出せる DVD メニュー画面の作成が簡単にできます。ドラッグ&ドロップ の簡単操作で手軽に DVD コンテンツが構築できます。
また、DVD-MovieAlbumSE 3 から MPEG2ファイルと同時に、プレイリストやプログラムナビ編集で入力したタイトルをテキストファイルで出力し、DVD メニュー画面の作成時に活用することもできます。

■編集画面上で作成した DVD メニューの動作確認が可能

DVD-R ディスクを作成する前に、DVD メニュー画面や再生動作を確認することができます。

作成したディスクについて

- 本機と MyDVD® 4 の組み合わせで作成した DVD-R(for General)、DVD-RW ディスクは、DVD フォーラム策定のビデオ規格準拠となります。DVD-R、DVD-RW 再生に対応したDVD プレーヤーで再生できます。また、DVD-Video 再生のアプリケーションソフトを使うと、DVD-RAM ドライブや DVD-ROM ドライブなどでも再生できます。ただし、すべての装置での再生を保証するものではありません。
- 本機と MyDVD® 4 の組合せで作成したVideo-CD 形式の CD-R や CD-RW ディスクは、CD-R や CD-RW ディスクの再生とVideo-CD Ver.2.0 に対応した装置で再生できます。ただし、すべての装置での再生を保証するものではありません。

動作条件について

本ソフトウェアをご使用になるためには、パソコン本体に以下の環境が必要です。

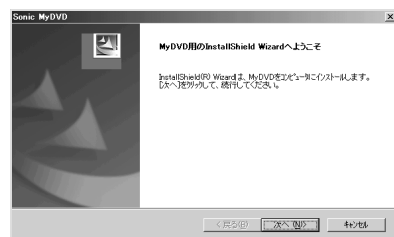
対応パソコン	DOS/V、PC98-NXシリーズ
対応 OS（日本語版）	Windows 98SE※1／Me／2000／XP （Microsoft DirectX8.1 以上が必要です。MyDVD® 4 と同時にインストールされます。）
CPU	・オーサリングのみ Pentium Ⅱ 400 MHz以上（Pentium Ⅲ 800 MHz以上を推奨） ・オーサリングおよび DVカメラ からのキャプチャーの両方 Pentium Ⅲ 1 GHz以上（Pentium 4 1.6 GHz以上を推奨）
メモリー	128 MB以上（256 MB以上を推奨）
ハードディスク空き容量	200 MB以上（ソフトインストール用）10 GB以上（画像編集作業用）
ディスプレイ	1024 × 768 ドット以上　High Color（16ビット）以上
サウンドカード	48 KHz ステレオ再生をサポートするサウンドカード（PCI 推奨）

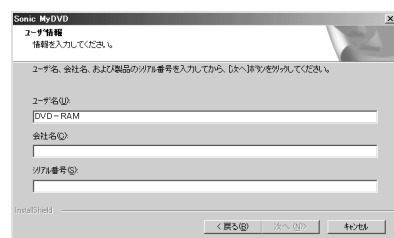
※1 Internet Explorer 5.0以降をインストールしてください。

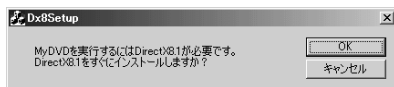
インストールのしかた

■Windows 98SE/Me/2000 の場合

1 **26ページ手順2の画面で、[MyDVD 4] をクリックして、右の画面が表示されたら、[次へ] をクリックする**

● 画面の指示に従って、作業を進めてください。

2 **ユーザー名、会社名、シリアル番号（CDケースに添付されている MyDVD® 4 用の枠内の番号）を半角大文字で入力し、[次へ]をクリックする**

● 画面の指示に従って、作業を進めてください。

3 **右の画面が表示された場合は、[OK] をクリックする**

● 表示されなかった場合は手順4に進んでください。

4 **インストール終了後、**

❶ **[はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択する**

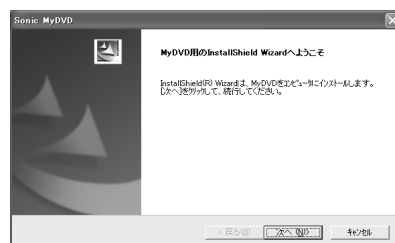
❷ **[完了] をクリックする**

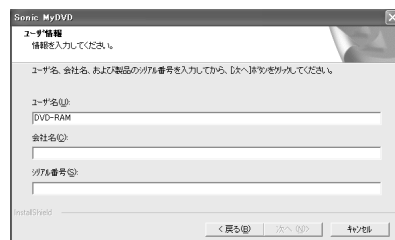
（パソコンが再起動されます）

● 再起動後に MyDVD® 4 が使用可能となります。

■Windows XP の場合

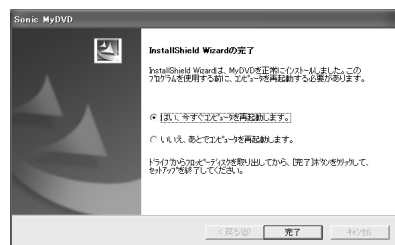
1 26ページ手順2の画面で、[MyDVD 4] をクリックして、右の画面が表示されたら、[次へ] をクリックする

● 画面の指示に従って、作業を進めてください。

2 ユーザー名、会社名、シリアル番号（CDケースに添付されている MyDVD® 4 用の枠内の番号）を半角大文字で入力し、[次へ]をクリックする

● 画面の指示に従って、作業を進めてください。

3 インストール終了後、

❶ [はい、今すぐコンピュータを再起動します。] を選択する

❷ [完了] をクリックする
（パソコンが再起動されます）

● 再起動後に MyDVD® 4 が使用可能となります。

起動のしかた

[スタート] → [プログラム] → [Sonic MyDVD] → [MyDVD の起動] を選択する

● デスクトップ上にアイコンを作成した場合は、アイコンをクリックしても起動できます。

使いかた

操作方法やトラブル回避方法は、付属のクイックガイドやヘルプファイルをご覧ください。

お知らせ

- Windows 2000 およびWindows XP では、Administrator（管理者）グループに所属したユーザー名でログオンして、インストールしてください。

ユーザーサポートについて

MyDVD® 4 に関しては、下記に直接お問い合わせをお願いします。

サポートセンター

ホームページ：	http://www.sonicjapan.co.jp/mydvd/
インターネットサポート：	http://www.sonicjapan.co.jp/support/support.html
ユーザサポート：	TEL：(03)5232-5065 月～金　10：00 ～ 17：00 (12：00 ～ 13：00 および土、日、祝祭日は休み)

WinDVD™ 4 の使いかた

WinDVD™ 4 とは…

WinDVD™ 4 は、ソフトウェアDVDプレーヤーで、DVD-Videoタイトルを高画質にデコードし、ハイクオリティなオーディオ再生をするだけでなく、Video-CDや音楽CDも再生することができます。
WinDVD™ 4 は、メニューによるナビゲーションコントロール、音声や字幕の切り替えなど、DVDの持つ様々な機能に対応しています。また、プレーヤーからのコントロールだけでなく、画面を直接クリックしてコントロールすることもできるので、簡単に操作することができます。
Video-CDの再生機能では、Ver2.0のプレイバックコントロールにも対応しています。
また、本機にディスクを挿入するだけで、DVD-VideoやVideo-CDと音楽CDを判別し、自動的に再生を開始することもできます。

■インターフェースの変更

プレーヤーやツールバー、ステータスバーの表示・非表示や、ツールバーの分離など、ユーザーインターフェースを変更できます。

■アルファブレンディング

ソフトウェアによるアルファブレンディング機能により、字幕などをよりくっきりと表示することができます。

■輝度・色合いの調整

ソフトウェアによる輝度・色合いの調整機能により、再生タイトルのテレビとパソコンモニタの違いによる違和感補正をすることができます。

■非インターレース化

ソフトウェアによって非インターレース化ができますので、動きの激しい絵などでもクシ状に表示されず、高画質な映像をお楽しみいただけます。

■ソフトウェアスケーリング

WinDVD™ 4 のスケーリング機能が、表示ウィンドウを拡大・縮小しても美しい画像を実現します。

■サウンド調整機能

DSP機能を使って、環境や好みに応じてサウンドを調整できます。

動作条件について

本ソフトウェアをご使用になるためには、パソコン本体に以下の環境が必要です。

項目	条件
対応パソコン	DOS/V、PC98-NXシリーズ
対応 OS（日本語版）	Windows 98SE／Me／2000／XP（Microsoft DirectX8.1 以上が必要です。WinDVD™ 4 と同時にインストールされます。）
CPU	Pentium Ⅲ 450 MHz 以上、Celeron 400 MHz 以上、Duron 600 MHz 以上（Pentium Ⅲ 700 MHz 以上を推奨）
メモリー	64 MB以上（128 MB以上を推奨、Windows 2000／XPでは128 MB必須）
ハードディスク空き容量	20 MB以上
ディスプレイ	800 × 600 ドット以上（1024 × 768 ドット以上のAGPグラフィックボードを推奨、PCIではAGPに比べて約30%性能が低下します）
サウンドカード	48 KHz ステレオ再生をサポートするサウンドカード（PCI 推奨）

お知らせ

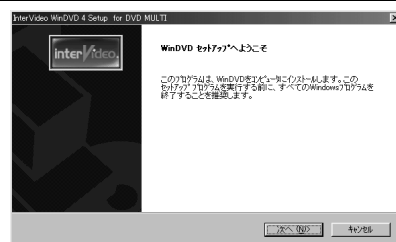
● ソフトウェアによるDVDの再生品質は、お使いのパソコンの総合的な能力によって変化します。

インストールのしかた

■Windows 98SE/Me/2000 の場合

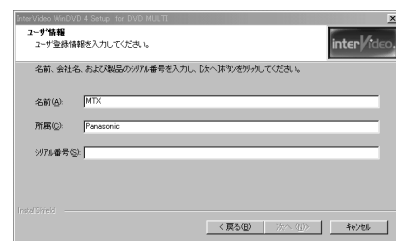
1 26ページ手順2の画面で、［WinDVD 4］をクリックして、右の画面が表示された場合は、［はい］をクリックする

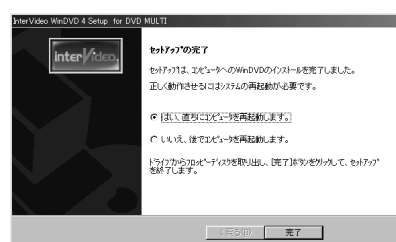
- 表示されなかった場合は、手順2に進んでください。

2 右の画面が表示されたら、［次へ］をクリックする

- 画面の指示に従って、作業を進めてください。

3 ❶ 名前、所属、シリアル番号（CDケースに添付されている WinDVD™ 4 用の枠内の番号）を半角大文字で入力する

❷ ［次へ］をクリックする

- 画面の指示に従って、作業を進めてください。

4 右の画面が表示された場合は、［はい、直ちにコンピューターを再起動します］を選択し、［完了］をクリックする
（パソコンが再起動されます）

- 再起動後に WinDVD™ 4 が使用可能となります。
- 表示されなかった場合は、再起動の必要はありません。

■Windows XP の場合

1 26ページ手順2の画面で、「WinDVD 4」をクリックして、右の画面が表示されたら、［次へ］をクリックする

- 画面の指示に従って、作業を進めてください。

2 ❶ 名前、所属、シリアル番号（CDケースに添付されている WinDVD™ 4 用の枠内の番号）を半角大文字で入力する

❷ ［次へ］をクリックする

- 画面の指示に従って、作業を進めてください。
- インストール終了後の再起動画面は表示されません。
再起動なしで WinDVD™ 4 が使用可能となります。

WinDVD™ 4 の使いかた（つづき） DVD-RAM DVD-R DVD-RW CD-R CD-RW

お願い

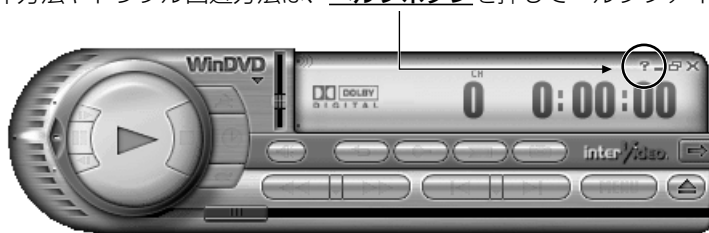
● Windows 2000 およびWindows XP では、Administrator（管理者）グループに所属したユーザー名でログオンして、インストールしてください。このときユーザー名は半角文字を使用してください。半角文字以外を使用すると、ASPI ドライバーが正常にインストールできなくなります。

起動のしかた

本機の自動挿入通知機能が有効になっている場合は、DVDディスクや音楽CDを挿入するだけでWinDVD™ 4 が自動的に起動し、再生が始まります。
ただし、複数台のドライブが接続されている場合は、右の画面上で右クリックしてメニューを表示させ、[セットアップ] → [プリファレンス]を選択してソース設定で使用するDVDドライブを設定をしてください。

■WinDVDが自動的に起動されず、再生が始まらない場合
[スタート] → [プログラム] → [InterVideo WinDVD 4] → [InterVideo WinDVD 4] を選択する

使いかた

操作方法やトラブル回避方法は、ヘルプボタンを押してヘルプファイルをご覧ください。

ユーザーサポートについて

WinDVD™ 4 に関しては、下記に直接お問い合わせをお願いします。

インタービデオジャパン株式会社

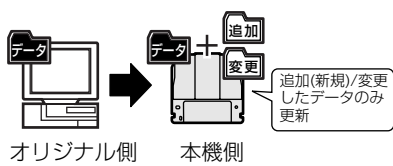
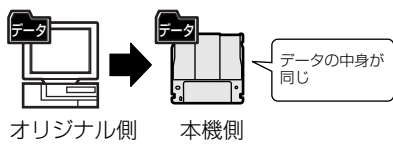
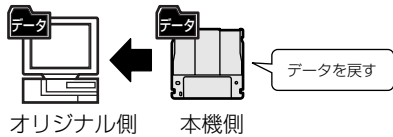
ホームページ：	http：//www.intervideo.co.jp/
メールでの問い合わせ：	support@intervideo.co.jp
ユーザーサポート：	TEL：(03)5447-0576
	FAX：(03)5447-6689
	月〜金　9：30 〜 17：00
	(12：00 〜 13：30 および土、日、祝祭日は休み)

FileSafe の使いかた

DVD-RAM

FileSafe とは…

指定したフォルダを自動的にバックアップしたり、内容更新されたフォルダのみバックアップするソフトウェアです。（OSを含むシステム全体のバックアップには使用できません）
必要なファイルを効率よくバックアップすることができます。

■実際のファイルと同じファイル形式でコピーします。

ジョブを実行すると、本機にセットされたDVD-RAM ディスクのルートディレクトリ上に、ジョブ名と同じ名前のフォルダを作成します。
オリジナル側で選択したフォルダの内容を実ファイル形式でコピーします。
従って、コピーしたフォルダやファイルは、エクスプローラや各種アプリケーションから使用可能です。

■コピー／リストアについて

以下のモードをサポートしています。

モード	図	説明
ノーマルコピー	データ → データ ＋ 追加 変更 ／ 追加(新規)/変更したデータのみ更新 ／ オリジナル側　本機側	指定したオリジナル側フォルダを、本機側にコピーする。 ●変更ファイルのみコピーを選択すると、初回は指定のオリジナル側フォルダすべてをコピーしますが、2回目以降、新しく作成または変更されたファイルやフォルダのみをコピーします。 ●オリジナル側で削除されたファイルは本機側に残っています。
クローンコピー	データ → データ ／ データの中身が同じ ／ オリジナル側　本機側	オリジナル側とまったく同じ構成でコピーする。（コピー先のデータを全て削除し、オリジナル側を本機側へコピーします）
シンクロコピー	データ ⇄ ⇄ データ ／ 異なるパソコンのやり取りも最新データに更新	オリジナル側と本機側のそれぞれの追加または変更された内容を、オリジナル側と本機側のそれぞれのフォルダにコピーし、内容を一致させる。（異なるパソコンを常に同じ最新のデータに保つこともできます）

モード	図	説明
リストア	データ ← データ ／ データを戻す ／ オリジナル側　本機側	本機側にコピーした内容を、オリジナル側にコピーしてデータを復元させる。

■自動実行（スケジュール）機能を使用することができます。

“キーボード未使用時に自動実行”、“定期的に自動実行”、“一定時間毎に自動実行” をサポートしています。
必要に応じて、それぞれのデータに最適なスケジュールで自動実行ジョブを登録できます。

■ジョブファイルでコピージョブを管理することができます。

コピーするために必要な設定条件を、ジョブファイルに登録します。
登録後の実行は、このジョブを選択するだけで実行できます。

動作条件について

本ソフトウェアをご使用になるためには、パソコン本体に以下の環境が必要です。

項目	条件
対応パソコン	DOS/V、PC98-NXシリーズ
対応OS （日本語版）	Windows 98SE／Me／2000／XP
ハードディスク空き容量	1 MB以上

FileSafe の使いかた（つづき）

DVD-RAM

インストールのしかた

1 26ページ手順2の画面で、「FileSafe」をクリックして、右の画面が表示されたら、［次へ］をクリックする

● 画面の指示に従って、作業を進めてください。

2 インストール終了後、

❶ ［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］を選択する

❷ ［完了］をクリックする

（パソコンが再起動されます）

● 再起動後に FileSafeが使用可能となります。

起動のしかた

［スタート］→［プログラム］→［Panasonic DVD-RAM］→［FileSafe］→［FileSafe］を選択する

お願い

FileSafe は、ボリュームラベル名でディスクを管理します。従って使用するハードディスクおよび、DVD-RAM ディスクには、必ずボリュームラベル名を入力してください。（☞35ページ）

お知らせ

● Windows 2000/XP で FileSafe をご使用の場合は、Administrator（管理者）グループに所属したユーザー名でログオンしてください。

使いかた

操作方法やトラブル回避方法は、ヘルプファイルや電子マニュアルをご覧ください。

電子マニュアルを見るには

Acrobat®Reader（Version 4.0以上）が必要です。インストールされていない場合は、付属CD-ROM の下記のファイルを実行してインストールしてください。（☞57ページ）

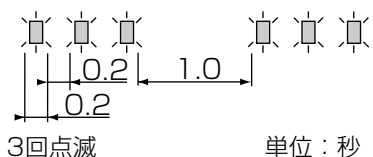
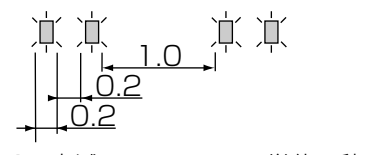
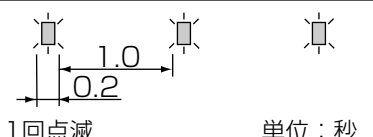
E：¥AcrobatReader¥Japanese¥ar505jpn.exe（CD-ROM が入っているドライブがEドライブの場合）

電子マニュアルは、［スタート］→［プログラム］→［Panasonic DVD-RAM］→［FileSafe］→［ユーザーマニュアル］を選択する

ユーザーサポートについて

● 74ページの「商品についてのお問い合わせは」をご参照ください。

困ったとき!?

トラブルが発生した場合、まず、以下の点をお調べください。
以下の点をお確かめになり、トラブルが解消されない場合、付属の光ディスク関連トラブル承り書（☞71ページ）のコピーに必要事項をご記入のうえ、お買い上げの販売店または弊社P³カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

こんなときは	ここをお調べください	参照ページ
トレイが出ない	●本機の電源ケーブルが正しく接続されていますか？ ●本機の電源が入っていますか？	18 16
トレイが入らない	●ディスクが正しくセットされていますか？	19・20
パソコンが起動しない	●本機とパソコンが正しく接続されていますか？ ●パソコンにフロッピーディスクが入っていませんか？	18 —
パソコンから操作しても本機が動作しない	●本機の電源が入っていますか？ ●本機とパソコンが正しく接続されていますか？ ●DVD-RAMドライバーが正しくインストールされていますか？	16 18 27～29
本機がWindows上で認識されない	●DVD-RAMドライバーが正しくインストールされていますか？ ☞ Windows XP 以外では、DVD-RAMドライバーがインストールされていない場合、Windows上では、CD-ROMドライブとして認識されます。DVD-RAMドライバーを必ずインストールしてください。	27～29
DVD-RAM ディスクが使用できない	●フォーマットされていますか？ ●正しいドライブ名にアクセスしていますか？	34～38 30
DVD-RAM ディスクに記録できない	● カートリッジのライトプロテクトタブが「書き込み禁止」になっていませんか？ ●ライトプロテクトが設定されていませんか？	12 40
CD-ROM/DVD-ROM が使用できない	● ディスクが正しくセットされ、動作表示ランプが緑色に点灯していますか？ ●正しいドライブ名にアクセスしていますか？	16・19・20 30

動作表示ランプが点滅したら

本機は使用中に異常を検出すると、動作表示ランプが緑色に点滅します。

点滅の周期	原　因	対処方法
0.2 1.0 0.2 3回点滅　単位：秒	ディスクが汚れた状態で使用されたため、記録予備領域（交替領域）を90％以上使用している。この場合、自動的に書き込み禁止状態になります。	読み出し専用として使用する。 または、本機のレンズ、ディスクを専用のクリーニングキット（☞裏表紙）でお手入れし、バックアップを行った後、物理フォーマット（☞35ページ）する。
1.0 0.2 0.2 2回点滅　単位：秒	本機のレンズ、ディスクが汚れている。 この場合、自動的に書き込み禁止状態になります。	本機のレンズ、ディスクを専用のクリーニングキット（☞裏表紙）でお手入れする。
1.0 0.2 1回点滅　単位：秒	本機の内部温度が異常に上昇している。	通風孔をふさいでいる障害物を取り除き、本機の電源を切って自然冷却する。

■処置をされても動作表示ランプが点滅するときは…

お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」（☞74、75ページ）に修理をご依頼ください。

■修理を依頼されるときは…

動作表示ランプの点滅回数をお知らせください。

ソフトウェアのアンインストール

お使いのパソコンにインストールしたドライバーソフト／アプリケーションソフトを削除する場合、以下の方法でアンインストールしてください。

お知らせ

● Windows 2000/XP でのDVD-RAMドライバーのアンインストールは、Administrator（管理者）グループに所属したユーザー名で行ってください。

■Windows 98SE/Me/2000 の場合

1 ［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］を選択する

● ［マイコンピュータ］→［コントロールパネル］を選択してもできます。

2 ［アプリケーションの追加と削除］を開き削除するソフトを選択する

Windows 98SE/Me

3 ［追加と削除］または［変更/削除］をクリックする

● 画面の指示に従って作業を進めてください。

● 作業終了後、パソコンを再起動してください。

Windows 2000

■Windows XP の場合

1 ［スタート］→［コントロールパネル］を選択する

2 ［プログラムの追加と削除］を開き、削除するソフトを選択する

3 ［変更と削除］をクリックする

● 画面の指示に従って作業を進めてください。

● 作業終了後、パソコンを再起動してください。

用語解説

UDFフォーマット	Universal Disk Format の略で、DVD-RAM、DVD-Video、DVD-ROM、DVD-R、CD-RW に採用されているディスクフォーマットです。
USB2.0(インターフェース)	Universal Serial Bus Specification Revision 2.0の略です。従来のUSB1.1と互換性があり、高速転送モードをサポートした、シリアル転送方式です。
USB ケーブル	USB 装置を接続するケーブルです。
インストール	デバイスドライバーなどのソフトウェアをパソコンのシステムに登録する作業をいいます。
論理フォーマット	初期化（イニシャライズ）とも呼びます。DVD-RAM ディスクがパソコンシステムで読み書きできるよう、システムの各種管理情報をディスクに書き込みする作業を言います。
ドライバーソフト	周辺機器の動作に必要な情報を OS に提供したり、動作を管理するソフトウェアです。「デバイスドライバー」や単に「ドライバー」と呼ばれることもあります。
物理フォーマット	ディスク定義情報や欠陥管理情報の書き込みを行い、セクターレベルでのアクセスを可能にする動作のことです。DVD-RAM ディスクは全面検査なしで数十秒、全面検査ありで約60分程度の時間を要します。
相変化書換型	ディスク上の記録膜（結晶状態か非結晶状態）の反射率の差を利用し、読み書きをするタイプの光ディスクです。

ユーザーサポートについて

本製品につきましては、品質に万全を期しておりますが、万一トラブルが発生したときは、ご面倒でも下記の内容について可能な限り詳しい情報をお知らせください。

- 修理を依頼される場合は、必ずこのページのコピーに必要事項を記入のうえ、ドライブに添付して、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 使用方法に関するお問い合わせは、FAXにて下記の送り先に送信してください。

送り先：P³カスタマーサポートセンター（FAX：03-5821-3140）

- B's Recorder GOLD5 BASIC/B's CLiP5、MyDVD® 4、WinDVD™ 4に関するお問い合わせについては、45、61、64ページをご覧ください。

光ディスク関連トラブル承り書		記入年月日	年　月　日
製品名／品番	DVD MULTIドライブ　LF-M660JD	製造番号	

ご依頼者				
	フリガナ お名前		電話番号 FAX番号	（　）　ー （　）　ー
	フリガナ （貴社名）		昼間の 連絡先	（　）　ー
	ご住所	〒　都道府県　区市郡		

システムの環境		
	パソコン	型番：　（メーカー：　）
	マザーボード	型番：　（メーカー：　）
	OS	□Windows 98SE　□Windows Me　□Windows 2000　□Windows XP
	USB2.0 インターフェース	型番： （メーカー：　）
	その他の周辺機器	
	拡張ボード	

トラブルの内容		
	トラブル発生時は	□ドライブ接続時　□インストール中
		□ソフト使用中（ソフト名：　）
	使用ディスクは	
	何が起きましたか？（トラブルの症状など、できるだけ詳しくご記入ください。）	

主な仕様

■DVD MULTI ドライブ

電源［付属ACアダプター使用時］	AC100 V　50/60 Hz
消費電力	14 W（本体電源スイッチ「切」の時：1W）

<table>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">インターフェース※7</td><td>USB2.0</td></tr>
<tr><td>High Speed モード（最大480 Mbps（理論値））</td></tr>
<tr><td>Full Speed モード（最大12 Mbps（理論値））</td></tr>
<tr><td rowspan="7">シークタイム
（平均値）</td><td>DVD-RAM</td><td>120 ms</td></tr>
<tr><td>DVD-R</td><td>120 ms</td></tr>
<tr><td>DVD-RW</td><td>120 ms</td></tr>
<tr><td>DVD-ROM</td><td>110 ms</td></tr>
<tr><td>CD-ROM</td><td>110 ms</td></tr>
<tr><td>CD-R</td><td>110 ms</td></tr>
<tr><td>CD-RW</td><td>110 ms</td></tr>
<tr><td rowspan="10">連続データ
転送速度
（理論値）
1倍速の転送速度
DVD ディスク：
1385 KB/s
CD ディスク：
150 KB/s</td><td>DVD-RAM</td><td>1倍速（2.6 GB　記録・再生時）、2倍速（4.7 GB　記録・再生時）
3倍速（3倍速対応　4.7 GB　記録再生時）</td></tr>
<tr><td>DVD-R</td><td>1倍速/2倍速/4倍速（4倍速対応ディスク）（記録時）</td></tr>
<tr><td>DVD-RW</td><td>1倍速（記録時）</td></tr>
<tr><td>DVD-ROM (1層)</td><td>最大12倍速（再生時）</td></tr>
<tr><td>DVD-ROM (2層)
/R/RW
DVD-Video</td><td>最大6倍速（再生時）</td></tr>
<tr><td>CD-R</td><td>12倍速/8倍速/4倍速（記録時）</td></tr>
<tr><td>CD-RW</td><td>8倍速/4倍速（記録時）</td></tr>
<tr><td>CD-ROM/R</td><td>最大32倍速（再生時）</td></tr>
<tr><td>CD-RW</td><td>最大24倍速（再生時）</td></tr>
<tr><td>CD-DA</td><td>4倍速（再生時）</td></tr>
<tr><td colspan="2">バッファー容量</td><td>2 MB</td></tr>
<tr><td colspan="2">設置方向</td><td>横置き／縦置き（ただし、縦置きでは8 cmディスクは使用不可）</td></tr>
<tr><td colspan="2">許容動作温度</td><td>5 ℃～35 ℃</td></tr>
<tr><td colspan="2">許容動作湿度</td><td>10 %RH～80 %RH（結露なきこと）</td></tr>
<tr><td colspan="2">外形寸法（幅×高さ×奥行）</td><td>168×50×246.5 mm（突起部除く）/176×53.5×249 mm（最大外形寸法）</td></tr>
<tr><td colspan="2">質量</td><td>約 1.7 kg</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="7">対応ディスク※6</td><td>DVD-RAM※2 ※5 [9.4 GB、5.2 GB、2.8 GB※4](両面)</td></tr>
<tr><td>[4.7 GB、2.6 GB、1.4 GB※4](片面)（80 mm、120 mm）</td></tr>
<tr><td>DVD-R（for General、Ver. 2.0）※2※5 [4.7 GB]（120 mm）</td></tr>
<tr><td>DVD-RW（Ver. 1.1）※2 [4.7 GB]</td></tr>
<tr><td>DVD-RW（Ver. 1.0）※2 [4.7 GB]</td></tr>
<tr><td>DVD-ROM、DVD-Video、DVD-R ※1（80 mm、120 mm）</td></tr>
<tr><td>CD-R、CD-RW（80 mm、120 mm）</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">対応フォーマット</td><td>CD-DA ※3、CD-ROM Mode1、CD-ROM XA Mode2</td></tr>
<tr><td>CD-Extra、CD TEXT、Photo CD（マルチセッション対応）、Video CD</td></tr>
</table>

※1 DVD-R 3.95 GB、4.7 GB for Authoringの、ディスクアットワンス方式で書き込まれたディスクに対応しています。
※2 ディスク容量はアンフォーマット時の容量です。　両面ディスクは同時に両面の記録再生はできません。
※3 CD-Gには対応していません。
※4 カートリッジには対応していません。
※5 DVD-RAM、DVD-R (for General)ディスクは、松下電器産業（株）製を推奨します。（☞ 裏表紙）
※6 ディスク・ドライブ・記録形式等の状況によっては、本機の記録・再生性能を保証できない場合があります。
※7 USBケーブルは、付属のものをお使いください。
※8 USB1.1接続時のFull SpeedモードではCD-R/RWの4倍速記録・再生性能までしかUSBバス上で実現できません。DVD-RAM、DVD-R/RWの記録再生やCD-R/RWの8倍速以上の記録再生性能をUSBバス上で実現するためには、USB2.0/High Speedモードにする必要があります。

※定格仕様及び外観は、性能向上その他の理由で、予告なく変更することがあります。

■DVD-RAM ディスク（別売）

品番	2倍速	LM-HC47	LM-HB47	LM-HB94
	3倍速	LM-HC47L	LM-HB47L	LM-HB94L
カートリッジの種類		カートリッジなし	TYPE2	TYPE4
形式		相変化書換型		
ディスク径／ディスクの厚み		120 mm／1.2 mm		
記憶容量（アンフォーマット時）		4.7 GB（片面）		9.4 GB（両面）
バイト／セクター		2,048 バイト／セクター		
セクター／トラック		25〜59（ZCLV）		
トラックピッチ		0.615 μm		
トラックフォーマット		ウォブル・ランドグルーブ方式		
周囲温度	（動作時）	5 ℃〜60 ℃		
	（保管時）	−10 ℃〜60 ℃		
周囲湿度	（動作時）	3 %RH〜85 %RH（結露なきこと）		
	（保管時）	3 %RH〜90 %RH		
外形寸法		120 mm×1.2 mm（直径）（厚さ）	124.6 mm×138.0 mm×8.0 mm（横）（縦）（厚さ）	
質量		約 17 g	約 75 g	

品番		LM-DB26J	LM-DA26J-3	LM-DA52J
カートリッジの種類		TYPE2	TYPE1	TYPE1
形式		相変化書換型		
ディスク径／ディスクの厚み		120 mm／1.2 mm		
記憶容量（アンフォーマット時）		2.6 GB（片面）		5.2 GB（両面）
バイト／セクター		2,048 バイト／セクター		
セクター／トラック		17〜40（ZCLV）		
トラックピッチ		0.74 μm		
トラックフォーマット		ウォブル・ランドグルーブ方式		
周囲温度	（動作時）	5 ℃〜60 ℃		
	（保管時）	−10 ℃〜60 ℃		
周囲湿度	（動作時）	3 %RH〜85 %RH（結露なきこと）		
	（保管時）	3 %RH〜90 %RH		
外形寸法		124.6 mm×138.0 mm×8.0 mm（横）（縦）（厚さ）		
質量		約 75 g		

※定格仕様及び外観は、性能向上その他の理由で、予告なく変更することがあります。
※LM-DA26J-3は、1枚当たりの仕様です。

■DVD-R（for General、Ver. 2.0）ディスク（別売）

品番	1倍速	LM-RF47
	4倍速	LM-RF47L
形式		追記型（記録膜=有機色素）
ディスク径／ディスクの厚み		120 mm／1.2 mm
記録容量		4.7 GB
標準線速度		3.49 m/s
周囲温度	（動作時）	−5 ℃〜55 ℃
	（保管時）	−20 ℃〜50 ℃
周囲湿度	（動作時）	3 %RH〜95 %RH（結露なきこと）
	（保管時）	5 %RH〜90 %RH
質量		約 17 g

※定格仕様及び外観は、性能向上その他の理由で、予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス　よくお読みください

修理･お取り扱い･お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- **修理は、サービス会社の「修理ご相談窓口」へ！**
- **その他のお問い合わせは、「P³カスタマーサポートセンター」へ！**

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このDVD MULTI ドライブの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

67ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず本機とパソコンの電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	DVD MULTI ドライブ
品　番	LF-M660JD
製造番号	（　　　　　　　　）
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に

- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

商品についてのお問い合わせは

P³カスタマーサポートセンター

電話 **03-5821-3180**
FAX **03-5821-3140**
10:00～12:00、12:45～17:00
（※土・日・祝日は除く）
〒101－0032　東京都千代田区岩本町3丁目2番4号
（東京建物岩本町ビル3F）

FAX情報サービス（24時間）のご利用は
（電話機付きファクシミリからダイヤルください）
TEL./FAX. 03-5821-3146

最新の情報をインターネットで
http://panasonic.jp/p3

ナショナル／パナソニック
修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。
  呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地域	所在地	電話番号
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話番号
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地域	所在地	電話番号
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6011
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	所在地	電話番号
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話番号
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	所在地	電話番号
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

地域	所在地	電話番号
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地域	所在地	電話番号
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話番号
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0503

別売品のご紹介

DVD-RAM ディスク

LM-HB94	（1枚）（9.4 GB／TYPE4／2倍速）
LM-HB94L	（1枚）（9.4 GB／TYPE4／3倍速）
LM-DA52J	（1枚）（5.2 GB／TYPE1／1倍速）
LM-HB47	（1枚）（4.7 GB／TYPE2／2倍速）
LM-HB47L	（1枚）（4.7 GB／TYPE2／3倍速）
LM-HC47	（1枚）（4.7 GB／カートリッジなし／2倍速）
LM-HC47L	（1枚）（4.7 GB／カートリッジなし／3倍速）
LM-DA26J-3	（3枚）（2.6 GB／TYPE1／1倍速）
LM-DB26J	（1枚）（2.6 GB／TYPE2／1倍速）

DVD-R（for General、Ver. 2.0）ディスク

LM-RF47	（1枚）（4.7 GB／1倍速）
LM-RF47L	（1枚）（4.7 GB／4倍速）

クリーニングキット

LF-K123LCJ1	(DVD-RAM/PD レンズクリーナー)
LF-K200DCJ1	(DVD-RAM/PD ディスククリーナー)

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

あなたが記録した映像や音声、またその他のデータは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

コピーコントロール CD について

- 本機は、CD 規格（コンパクトディスクデジタルオーディオ）に準じていない「コピーコントロールCD」などについては、動作や音質の保証は致しかねます。
- CD 規格に準じた CD の再生や読み出しに支障がなく、上記のような特殊ディスクで支障が出る場合は、ディスクやパッケージ、印刷物などをよくお確かめのうえ、ディスクの発売元へお問い合わせください。

- 本製品は日本国内専用です。 This product is supported only in Japan.
- 本製品は海外での保守、修理対応をいたしておりませんので、ご了承ください。
- 本製品のデザイン、仕様は改善のため予告なしに変更することがあります。
- 本書は改善のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- 落丁、乱丁本はお取り替えいたします。

便利メモ	お買い上げ日	年　月　日	品　番	LF-M660JD
おぼえのため記入されると便利です	販売店名	☎（　）－	お客様ご相談窓口 ☎（　）－	

本製品に関する最新情報は、下記ホームページの製品紹介（該当商品品番）をご覧ください。
アドレス：**http://panasonic.jp/p3/pro/LFM660JD.html**

松下電器産業株式会社
松下寿電子工業株式会社
ストレージプロダクツビジネスユニット
〒791-0395　愛媛県温泉郡川内町南方2131番地1

Printed in Japan
LMQT00619
M0703SF0